

TOTO

【ご注意】

P12 に修正点がございます。

スリム収納タイプの窓枠高さ (誤) 910 → (正) 940

- ・同ページ内に正しい内容を掲載していますのでご参照ください。
- ・改訂版は、2026年10月頃に掲載予定です。

施工説明書メーカー
管理用です。

住宅用システムトイレ レストパル

L 型 床排水

まるごと収納タイプ(UWTA)

スリム収納タイプ(UWTC)

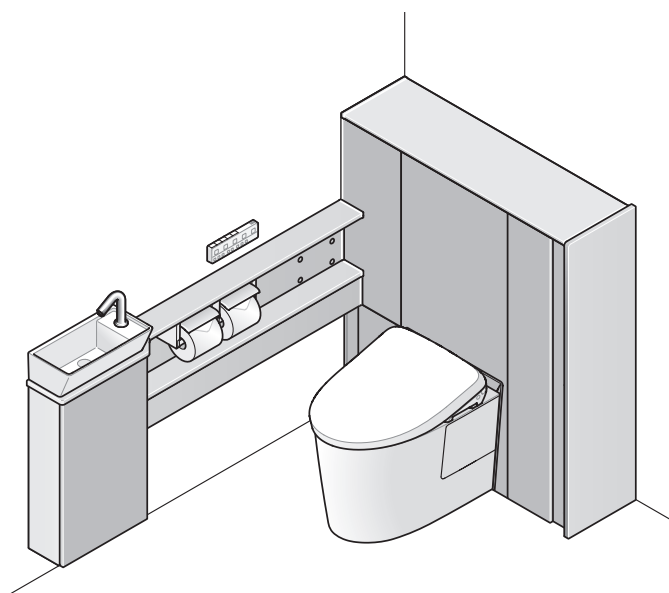
◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

本書は左勝手を基準に説明しております。本書に記載の寸法の単位はmmです。

本書とあわせて、各部材に付属の説明書やチラシをご確認のうえ、正しく取り付けてください。

**商品タイプの確認 2****情報編 3**

- | | |
|-------------|----|
| 1. 安全上のご注意 | 4 |
| 2. 取付前のご注意 | 6 |
| 3. 部品の確認 | 14 |
| 4. 施工ダイジェスト | 22 |

手順編 23**動画を見る****施工の流れ**

当社のウェブサイトから、施工動画がご確認いただけます。

※通信料がかかります。

※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。



工事店様へ

- ☐ 取扱説明書の最終ページの保証書に、必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡ししてください。
お渡しできない場合は、目立つ場所に置いてください。
- ☐ 取付後、ウォシュレットの機能、使いかたなどについてお客様にご説明をお願いいたします。
- ☐ 新築などでお客様に引渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。

商品タイプの確認

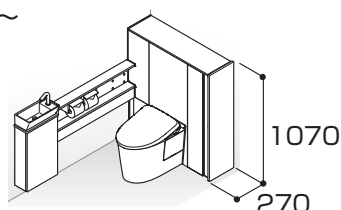
商品タイプにより施工手順が異なります。

お施主様のお宅は、どのタイプですか？

キャビネットタイプ

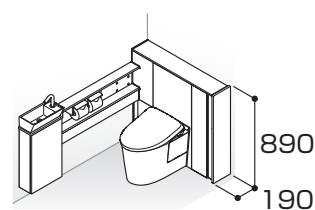
まるごと収納タイプ

品番:UWTA/D～



スリム収納タイプ

品番:UWTC～

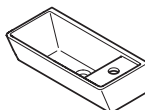


手洗器

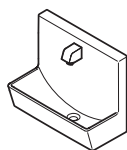
ベッセルタイプ(丸形)



ベッセルタイプ(角形)



ハイバックタイプ ※図は自動水栓の場合



水栓金具

自動水栓

ベッセルタイプ(丸形)



ベッセルタイプ(角形)



ハイバックタイプ



ハンドル式水栓

ベッセルタイプ(丸形)



ベッセルタイプ(角形)



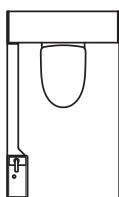
ハイバックタイプ



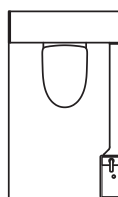
手洗器位置

※図はベッセルタイプ(角形)の場合

左勝手



右勝手

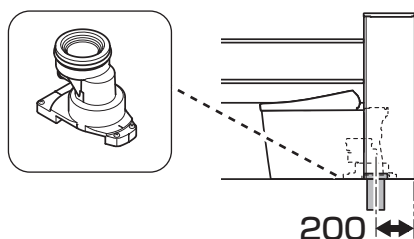


給排水タイプ

排水心200mm

給水新設

既存給水流用(リモデル用)



排水心可変

既存給水流用(リモデル用)



情報編

1. 安全上のご注意 ▶ 4

2. 取付前のご注意 ▶ 6

1	設置寸法	6
2	キャビネット扉の開閉範囲	6
3	排水位置	7
4	給水位置	7
5	水抜栓位置（水抜方式の場合）	8
6	補強材位置	9
7	電気配線	11
8	幅木	12
9	窓枠	12
10	必要工具	13

3. 部品の確認 ▶ 14

4. 施工ダイジェスト ▶ 22

1.安全上のご注意

安全のために必ずお守りください。

お取付前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示と意味



警告

死亡や重傷を負う可能性が
ある内容です。



注意

傷害や物的損害※が発生する
可能性がある内容です。



してはいけない禁止の内容です。



必ず実行していただく強制の内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。



警告



分解禁止

修理技術者以外の方は分解したり、修理・改造は
しない
商品が破損し、けがや重大事故の原因となります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電気部品に触れない
感電の原因となります。



接触禁止

雷が発生しているときは、電源プラグに触れない
感電の原因となります。



水場使用
禁止

浴室など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない
火災や感電の原因となります。
商品本体・ねじ類の腐食により、落下してけがのおそれ
があります。



禁止

指定する電源(AC100V)以外では使用しない
火災の原因となります。

電源コード、電源プラグが破損するようなことをしない
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因と
なります。

破損とは…

傷をつける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、
重い物を載せる、束ねる、挟み込む、加熱する など

屋外および傾斜のあるような壁面、床面、振動の
激しい場所に取り付けない
取り付けが不安定になり、倒れたり落下してけがのおそれ
があります。

給水および排水管の真下部にコンセントを設置
したり、フレキシホースと電源プラグ、コンセントを
接触させない
結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電
の原因となります。

電源コード、電源プラグが傷んだりコンセントの差し
込みがゆるいまま使用しない
火災や感電の原因となります。

がたついているコンセントは使わない
火災や感電の原因となります。

器具取付用のねじ固定部の床・壁裏には、配管・配線
を通さない
火災や感電の原因となります。
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因と
なります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の
原因となります。

水道水および飲用可能な井戸水・地下水以外は
使用しない
皮膚の炎症などを起こす原因となります。



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグ本体を持って引き抜く
電源コード、電源プラグの傷みによる火災や感電の原因となります。



アース接続

アース(D種接地)工事がされていることを確認する
アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因となります。
アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。



必ず守る

コンセント位置・電源コードの取り回しは、本説明書に
記載された位置・方法・注意事項に従う
結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や
感電の原因となります。

取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、コンクリート用
プラグ(現場手配)を使用する
取り付けが不安定になり、落下してけがのおそれがあります。

警告

 必ず守る	壁固定ねじ取付位置には、必ず壁裏に補強材を入れる商品が転倒・落下してけがのおそれがあります。	機器の設置は専門業者が行う また、電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者(電気工事士)が行う 火災や感電の原因となります。水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。
	工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する商品が落下したり、外れてけがのおそれがあります。	
	石こうボードの場合は指定のボードアンカーを使用する取り付けが不安定になり、落下してけがのおそれがあります。	手洗器クッション材のはり付けおよび必要箇所へのシリコン系シール材の塗布(コーキング)は確実に行う水などが浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。
	商品を取り付ける柱・間柱は腐食などで強度不足でないか確認する 商品が転倒・落下してけがのおそれがあります。	

注意

 禁止	止水栓を開けたままで給水フィルター、機能部フィルターを外さない 水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	フレキホースが破損するようなことをしない フレキホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。 破損とは… 傷をつける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる、挟み込む、加熱する など
	商品に強い力や衝撃を与えない 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。	
	商品に乗らない、重い物を載せない 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。	
 必ず守る	給水フィルター、機能部フィルター、給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは接続部やフィルターふたを確実に締める 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。 ※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓を取り付けてください。	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがのおそれがあります。
	工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	給水・排水接続は、本説明書に記載された方法・注意事項に従う 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	作業時は手袋、防じんマスクなど適切な安全防具を使用する けがのおそれがあります。	コンセントは水や小水がかからない位置に設置する コンセントに水がかかり、感電・発火の原因となります。
	商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項に従う 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。	給水ホースと分岐金具を正しく接続する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	商品の壁への固定が完了するまで、もたれたり、物を載せたりしない 倒れや落下によりけがのおそれがあります。	ねじ部の固定は、本説明書に記載された方法・注意事項に従う 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。
	推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがのおそれがあります。	水平器を用いて水平に設置する 物が落下してけがのおそれがあります。
	凍結による破損の予防を行う 凍結すると商品の一部が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	商品周囲のすき間処理は、本説明書に記載された方法・注意事項に従う 水が浸入して家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
		便器の水たまり部を見て、封水が切れていないか確認する封水が切れている場合に下水ガスや塩素ガス、硫化水素などによって設備・機器が腐食し、物的損害・傷害の生じる原因となります。

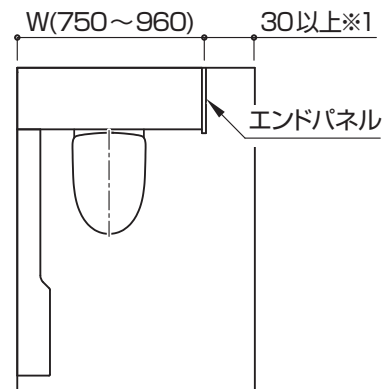
2. 取付前のご注意

- ・施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようにしてください。金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。
- ・便器を防火区画貫通部より 1m 以内に設置の場合は、事前に所轄消防署にご確認のうえ、その指示に従ってください。
- ・キャビネットの表面に指定のクッション材・ラベル以外のはらないでください。
- ・ボードアンカーは、引抜強度 200N 以上のものを使用してください。
- ・排水アジャスターを組み立てる際は、塩ビ用接着剤を全周に十分塗布し、最後まできちんと押し込んでください。水漏れのおそれがあります。

参照 ウォシュレットへの通電：ウォシュレットの施工説明書

エンドパネルを設置する場合

- ・エンドパネルを利用して、壁とすき間を空けて設置することもできます。
- ただし、以下条件の場合は設置できません。
 - ・手洗器側への設置
 - ・両側への設置
- ・図は左勝手の場合です。右勝手の場合は左右反転となります。

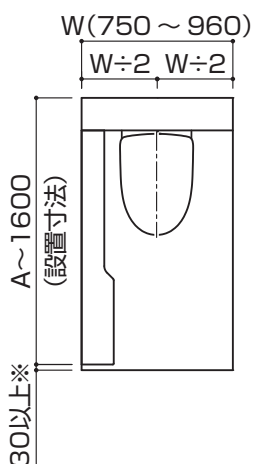


※図はエンドパネルLタイプの場合

※1 指の挟み込み防止のため、30mm以上のすき間確保が必要です。

1 設置寸法

- ・トイレの広さは以下の寸法を確保してください。範囲外の間口には対応できません。
- ・図は左勝手の場合です。右勝手の場合は左右反転となります。
- ・トイレ奥行寸法にあわせてカウンターを任意の長さにカットできます。

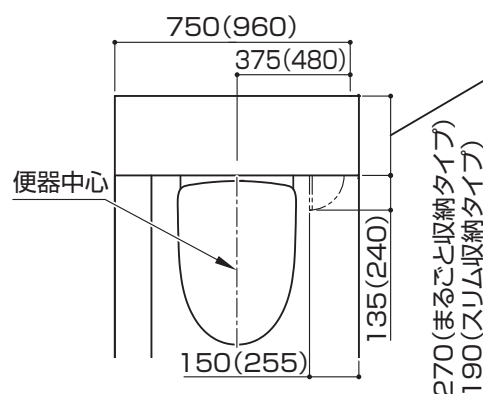


※指の挟み込み防止のため、30mm以上のすき間確保が必要です。

タイプ	W	A
まるごと収納タイプ	750~779	1345
	780~960	1270
スリム収納タイプ	750~779	1265
	780~960	1200

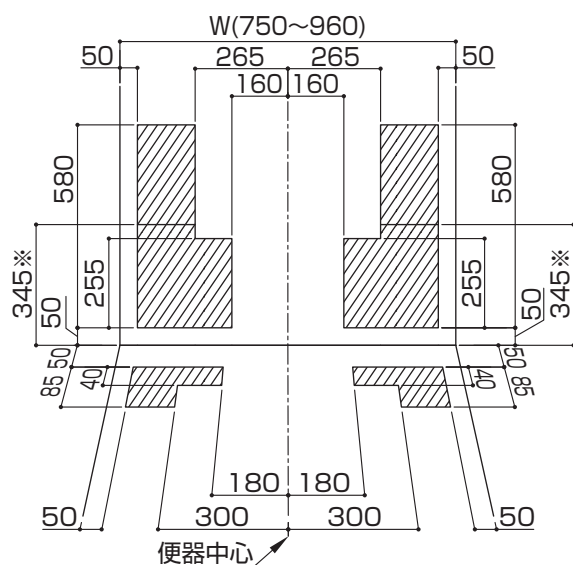
2 キャビネット扉の開閉範囲

- ・図の扉開閉範囲内に障がい物がないことをご確認ください。
- ・図は間口 750mm と 960mm の場合です。
- ※() 寸法は間口 960mm の場合。



既存給水流用（リモデル用）

スリム収納タイプの場合

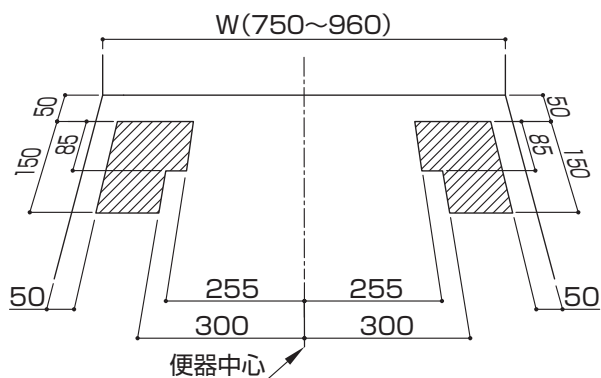


寒冷地 水抜方式

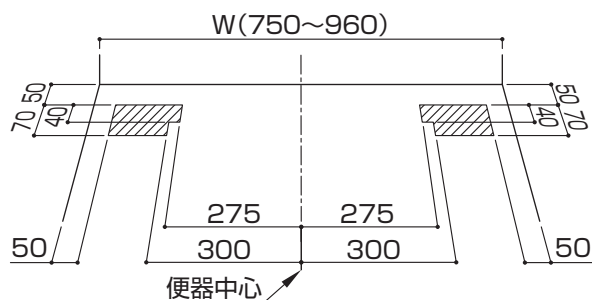
給水位置が便器中心より右側の場合、
以下部材を別途ご購入ください。

- ・延長用ホース(TN98L2X30)
- ・給水アダプター(TN48)
- ・ウォシュレット用給水ホース(TCA525)

まるごと収納タイプの場合



スリム収納タイプの場合

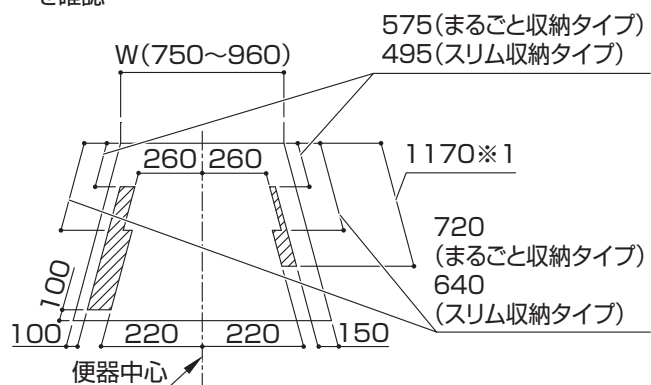


5 水抜栓位置（水抜方式の場合）

図は左勝手の場合です。
右勝手の場合は左右反転となります。

事前確認

- 紙巻器の設置位置を確認
※水抜栓高さが、450mmを超える場合は、紙巻器に干渉するおそれがあります。
- 棚付二連紙巻器を設置する場合は、棚板などと干渉しないかを確認



※1 カウンター長さ1600mmの場合

6 補強材位置

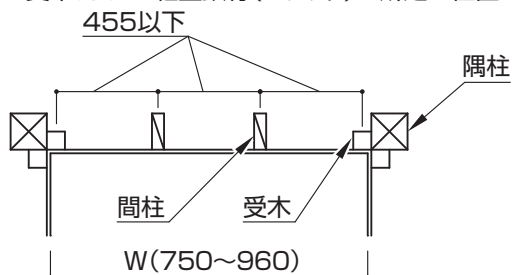
ねじ位置については下記URL内の「ねじ位置情報」をご覧ください。
 【URL】
<https://search.toto.jp/contents/navi/construction/eito/kinejiichijoho/kinejiichijoho.htm>



木材や建築部材が腐食などで強度不足でないことをご確認ください。

大便器キャビネット部

間柱および受木、または軽量鉄骨（スタッド）が所定の位置にあることをご確認ください。



壁裏補強なし

後壁について

壁裏補強なしで施工する場合、大便器キャビネットを間柱および受木または軽量鉄骨（スタッド）に固定します。

横壁について

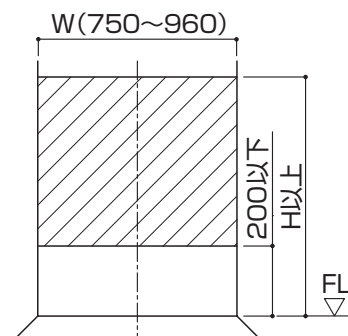
壁裏補強なしで施工する場合、ボードアンカー（オプション：UGA490B）をご使用ください。

壁裏補強あり

- ・間柱および受木が所定の位置にない場合、壁裏補強が必要です。図の斜線範囲（周辺部材を設置する場合は取付面）にt12以上の普通合板（JAS規格品）を入れてください。
- ・合板は間柱および受木に固定してください。

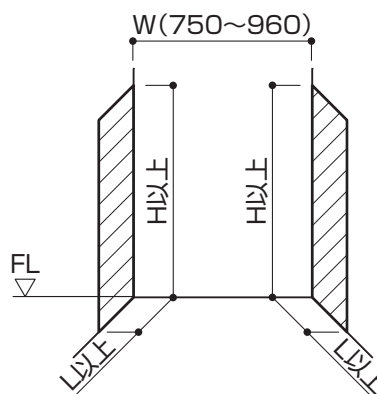
参照 周辺部材の取り付け：各施工説明書

後壁について



タイプ	H
まるごと収納タイプ	1070
スリム収納タイプ	890

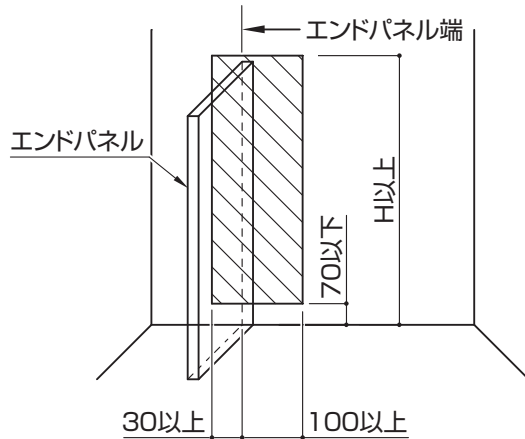
横壁について



タイプ	H	L
まるごと収納タイプ	1070	240
スリム収納タイプ	890	160

エンドパネル部

- ・図の斜線範囲にt12以上の普通合板(JAS規格品)を入れてください。
- ・図はエンドパネルRタイプの場合です。
Lタイプの場合は左右反転となります。

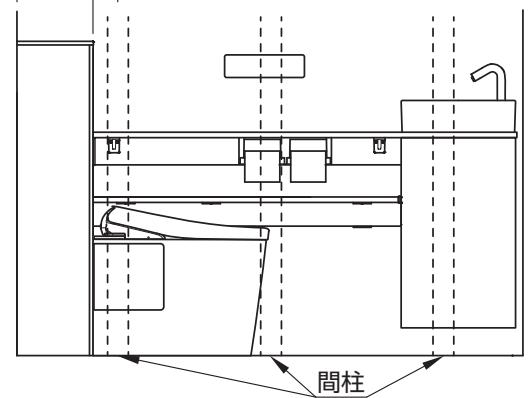
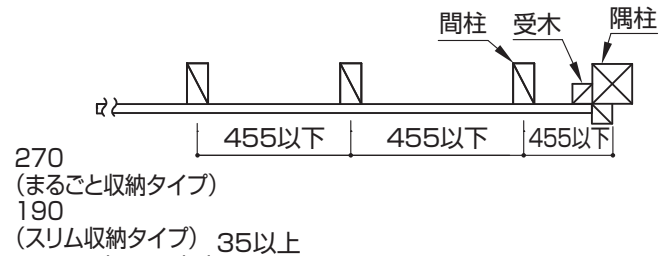


タイプ	H
まるごと収納タイプ	1070
スリム収納タイプ	890

手洗器キャビネット部

壁裏補強なし

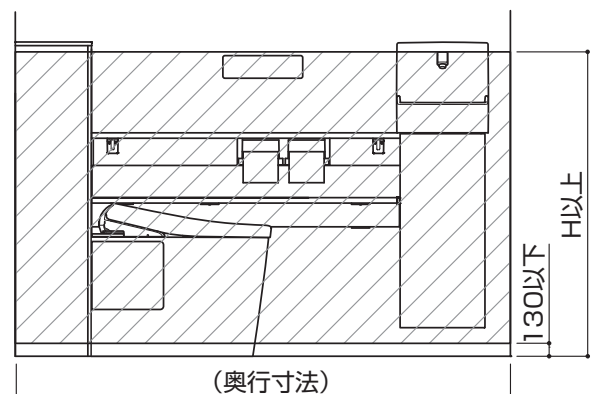
- ・壁裏補強なしで施工する場合、間柱および受木または軽量鉄骨(スタッド)にカウンターを固定します。
間柱および受木、または軽量鉄骨(スタッド)が所定の位置にあることをご確認ください。
- ・間柱以外の壁裏補強のない壁面の場合、ボードアンカー(オプション:UGA490B)をご使用ください。



壁裏補強あり

- ・間柱および受木が所定の位置にない場合、壁裏補強が必要です。図の斜線範囲(周辺部材を設置する場合は取付面)にt12以上の普通合板(JAS規格品)を入れてください。
- ・合板は間柱および受木に固定してください。

参照 周辺部材の取り付け：各施工説明書



手洗器	H
ベッセルタイプ(丸形/角形)	740
ハイバックタイプ	1030

7 電気配線

各器具の定格消費電力をご確認のうえ、適切な配線を行ってください。(AC100V 50/60Hz共通です。)

表以外の電気器具を設置する場合、定格消費電力をご確認のうえ適切な配線を行ってください。

定格消費電力	
ウォシュレット	1280W(F4A)
	1278W(F3A)
	1277W(F1A/F2A)
ヒーター付便器 (水抜方式)	25W
ヒーター付タンク (水抜方式)	2W
電気温水器	約505W
自動水栓	待機時:0.4W(最大値3W) 作動時:0.6W(最大値5W)

大便器キャビネット部

- ・取り付けるコンセントは表をご確認ください。
- ・コンセントは付属品として同梱されておりませんので、現場にて手配してください。

設置機器				コンセント
ウォシュレット	自動水栓	ヒーター付 タンク※1	ヒーター付 便器※2	
○	○※3	○	○	 埋込アースターミナル付 4口コンセント
○	○※3	○	—	
○	—	○	○	 埋込アースターミナル付 2口コンセント
○	—	○	—	
○	○	—	—	
○	—	—	—	

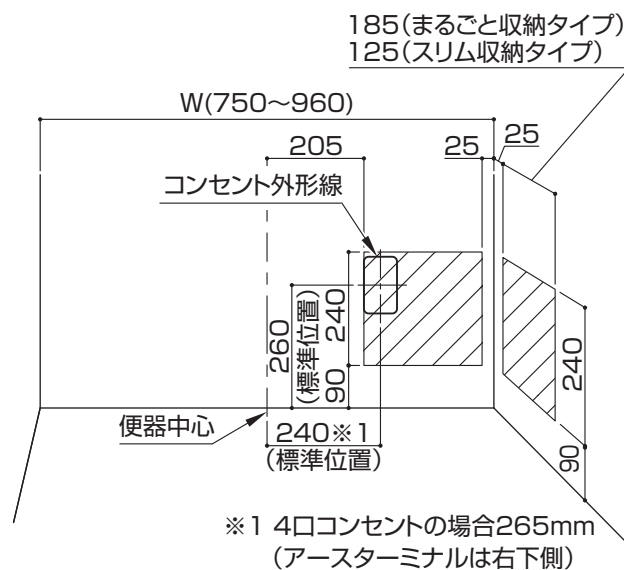
※1 水抜方式の場合

※2 水抜方式(ヒーター付便器併用)の場合

※3 電気温水器付の場合、2口コンセント

コンセント設置位置

- ・既存のコンセントを使用する場合、図の斜線範囲にコンセントの外形が納まることをご確認ください。
- ・向かって右側にエンドパネルを使用する場合、横壁のコンセントは使用できません。
- ・コンセントは給水管の下にならない位置に取り付けてください。



2

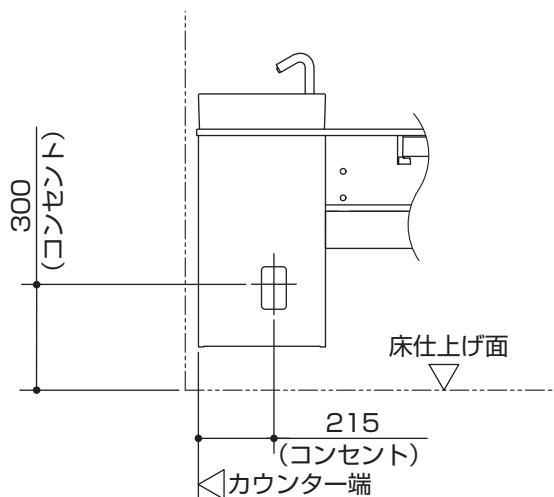
取付前のご注意

手洗器キャビネット部（自動水栓（電気温水器付）の場合）

あらかじめ手洗器キャビネット内に、大便器用コンセントとは独立系統で、別途埋込アースターミナル付2口コンセントを取り付けておいてください。

コンセント設置位置

図のコンセント位置は左勝手の場合です。
右勝手の場合は左右反転となります。

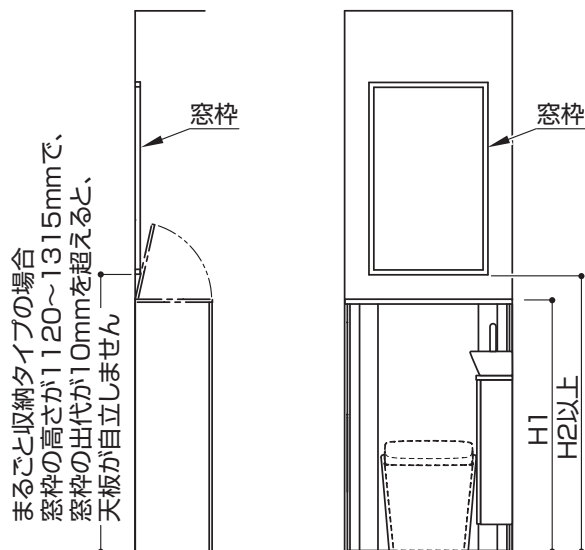


9 窓枠

壁に窓枠や腰壁の笠木などの突起物がある場合、図のような制約が付きます。

事前に商品と干渉しないことをご確認ください。

大便器後壁に窓がある場合



タイプ	H1	H2
まるごと収納タイプ	1070	1120
スリム収納タイプ	890	910

修正
あり

※スリム収納タイプの場合、天板は開きません。

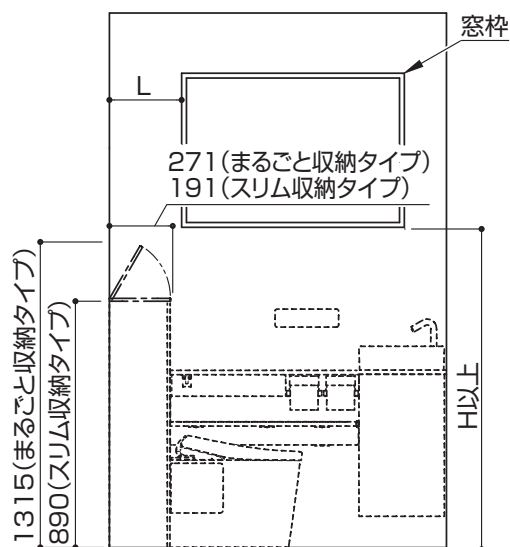
8 幅木

- ・使用する幅木は高さ100mm以下、厚さ10mm以下としてください。
- ・本商品は、幅木カット不要で設置できます。

正

タイプ	H1	H2
まるごと収納タイプ	1070	1120
スリム収納タイプ	890	940

大便器横壁に窓がある場合



正

タイプ	H			
	ハイバックタイプ		ベッセルタイプ(丸形/角形)	
	L=315以上	L=315未満	L=315以上	L=315未満
まるごと収納タイプ	1100	1345	895	1345
スリム収納タイプ	1100	1100	895	940

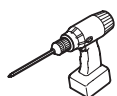
タイプ	H			
	ハイバックタイプ		ベッセルタイプ(丸形/角形)	
	L=315以上	L=315未満	L=315以上	L=315未満
まるごと収納タイプ	1100	1345	895	1345
スリム収納タイプ	1100	1100	895	910

修正
あり

※スリム収納タイプの場合、天板は開きません。

10 必要工具

一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具をご用意ください。



電動ドライバー
・(+) 65mm 、 200mm
#2ビット
・(+) 200mm
#3ビット



アングル形
ドライバー



電動ドリル
 $\phi 3$ 、 $\phi 4.5$ 、 $\phi 5$ 、 $\phi 10$



のこぎり



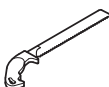
ナット締付工具
(品番:TZY15N)



スタビー
ドライバー(+)
#2ビット



プラスドライバー
 65mm 、 200mm
#2ビット



パイプソー



ドライバー
(給水フィルター清掃用)



シールテープ

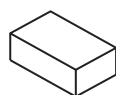
MEMO

2

取付前のご注意

3. 部品の確認

専用の施工説明書が同梱されている商品は、外装箱のみ表記しています。



詰め合わせ箱

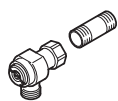
施工説明書				取扱説明書			
施工説明書 (1冊)	ちらし (1枚)	クッション材 (2個)	ラベル (3枚)	取扱説明書 (1冊)	ちらし (2枚)	※ハイバック タイプのみ 開閉工具 (1個)	品番表示 ラベル (2枚)
		型紙	※ベッセルタイプ(丸形/角形)の 場合は使用しません。			開閉工具 (1個)	

止水栓

※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。

【給水新設用】

壁給水



(1セット)

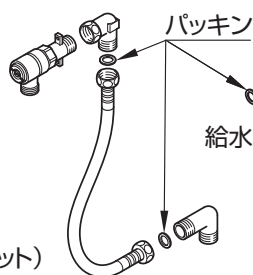
床給水



(1セット)

【既存給水流用】

※水抜方式の場合は【床給水】を使用します。



(1セット)

パッキン
給水アダプター
(1個)



固定板
(1個)

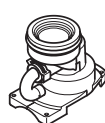
なべ小ねじ
M4×8(2本)

座金付
タッピンねじ
4.5×38(2本)

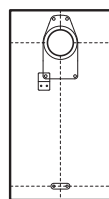
排水ソケットセット

排水ソケットユニット

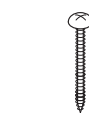
【まるごと収納タイプ・排水心200】



排水ソケット
(1個)

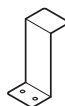


位置決めシート
(1枚)



トラスタッピンねじ
5×50(4本)

配管支持材セット



配管支持材
(1個)

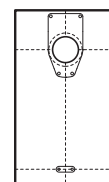


トラスタッピンねじ
4×30(2本)

【スリム収納タイプ・排水心200】



排水ソケット
(1個)



位置決めシート
(1枚)



トラスタッピンねじ
5×50(4本)

【排水心可変】



便器接続部
(1個)



床フランジ接続部
(1個)



横引管
(1個)



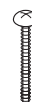
Pシール
(金属フランジ用)
(1個)



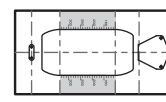
Pシール
(樹脂フランジ用)
(1個)



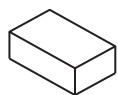
Tボルト
(2本)



トラスタッピンねじ
6×60(2本)



位置決めシート
(1枚)



詰め合わせ箱（つづき）

ホースクランプセット※水抜方式の場合



ホースクランプ
(1個)



トラスタッピンねじ
4×40(1本)

天板開閉部材セット※まるごと収納タイプの場合

スライド丁番セット

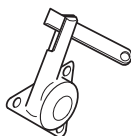


スライド丁番
(2個)



皿タッピンねじ
3.5×14(4本)

ダンパーセット



ダンパー 本体
(1個)



ダンパー 座金
(1個)



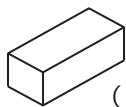
トラス小ねじ
M4×8(5本)



トラス小ねじ
M4×5(1本)

選択商品

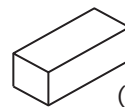
ハンドグリップ



(1箱)

タオル掛け

【壁取付タイプ】



(1箱)

MEMO

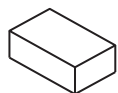
3

部品の確認



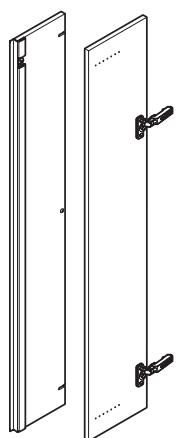
コアキャビネット

コアキャビネット			セットタンク
コアキャビネット組品 (1台)	前板組品 (1枚) ※図はまるごと収納タイプの場合	側板組品(手洗器と反対側) 側板組品 (1枚) 側板組品(手洗器設置側) 【まるごと収納タイプ】 側板組品 (1セット) 【スリム収納タイプ】 側板組品 (1セット)	セットタンク ※ピンはジョイント端に付いています。 (1個) 固定ナット パッキン カバー(A) (1個) カバー(B) (1個)
【まるごと収納タイプの場合】 底板セット 底板 (1枚) 支持材 (1個) キャップ (1個) アングル材 (2個) トラストタッピンねじ 4×10(5本) トラストタッピンねじ 4×40(2本)			引き出しラック (1台) 棚板セット 棚板 (2枚) 支持材 (2個)
扉セット (手洗器設置側) 【スリム収納タイプ】 扉 (1枚) スライド丁番セット スライド丁番 (2個) 丁番用スペーサー (2個) 皿タッピンねじ 3.5×14(4本)			【流動方式の場合】 レバー止め (1個) 流動レバー (1個)
【まるごと収納タイプ】 扉 (1枚) スライド丁番セット スライド丁番 (2個) 丁番用スペーサー (2個) 皿タッピンねじ 3.5×14(4本)			平板金・ねじセット 平板金 (1個) トラストタッピンねじ 4×10(4本)
キャップセット キャップ (1個) トラストタッピンねじ 4×8(2本)	キャップセット キャップ (1個) トラストタッピンねじ 4×8(2本)	キャップセット 扉組品 (1セット)	 トラストタッピンねじ 4×20(3本)



コアキャビネット（つづき）

扉セット(手洗器と反対側)



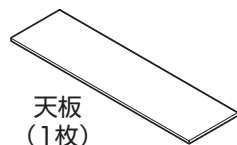
扉組品
(1セット)

※対応間口によって裏扉の仕様
(切り欠きの有無)は異なります。

トラスタッピンねじ
4×20(3本)

天板セット

【まるごと収納タイプ】



天板
(1枚)

キャップセットL



キャップ(L)
(1個)

トラスタッピンねじ
4×8(2本)

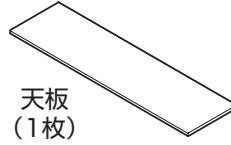
キャップセットR



キャップ(R)
(1個)

トラスタッピンねじ
4×8(2本)

【スリム収納タイプ】



天板
(1枚)

支持材セット



支持材
(1個)

トラスタッピンねじ
4×8(2本)

キャップセットL



キャップ(L)
(1個)

トラスタッピンねじ
4×8(2本)

キャップセットR



キャップ(R)
(1個)

トラスタッピンねじ
4×8(2本)

取付材セット(横さん)



横さん
(1本)



皿タッピンねじ
4×50(3本)

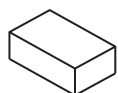
取付材セット(横さん)



横さん
(1本)

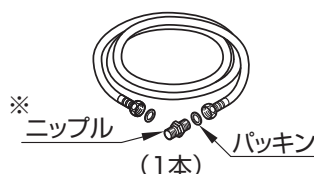


皿タッピンねじ
4×50(3本)



詰め合わせ箱（手洗器キャビネット用）

フレキホース



※
ニップル
(1本)

パッキン

※手洗器がハイバックタイプかつ
ハンドル式水栓の場合のみ同梱

付属材セット（手洗器）

【ベッセルタイプ(丸形/角形)】

付属材セット(手洗器)

クリップナット
(2個)

ばね座金
M6(2個)

付属材セット

寸切ボルト
M6×65
(2本)

ローレット
ナットM6
(2個)
平座金
M6(4個)

アングル
(2個)

クッション材
(1個)

トラスタッピンねじ
4×12(4本)

トラスタッピンねじ
4×50(4本)

【ハイバックタイプ】

付属材セット(手洗器)

クリップナット
(2個)

ばね座金
M6(2個)

付属材セット

寸切ボルト
M6×40
(2本)
ローレット
ナットM6
(2個)
平座金
M6(4個)

取付材
(2個)
アングル
(2個)

クッション材
(1個)

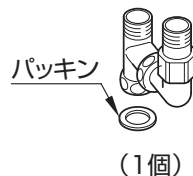
トラスタッピンねじ
4×12(2本)

トラスタッピンねじ
4×50(8本)



詰め合わせ箱（手洗器キャビネット用）（つづき）

分岐金具



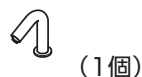
選択商品

自動水栓

【ベッセルタイプ(丸形)】



【ベッセルタイプ(角形)】



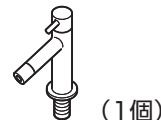
※ハイバックタイプは手洗器にセットされています。

ハンドル式水栓

【ベッセルタイプ(丸形)】



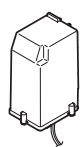
【ベッセルタイプ(角形)】



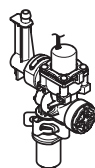
【ハイバックタイプ】



自動水栓コントローラー部



コントローラー
(1個)



自動水栓機能部
(1個)



ファスナーガイド
(1個)



つば付ナット
(1個)



取付金具
(1個)

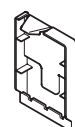


座付タッピンねじ
4.5×38(2本)



ホースクランプ
(1個)

コントローラー固定材セット

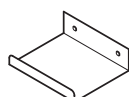


コントローラー
固定材(1個)



トラス
タッピンねじ
4×30(3本)

コンセントプレートカバー※電気温水器付の場合



コンセントプレートカバー
(1個)



トラスタッピンねじ
4×30(2本)

タオル掛け

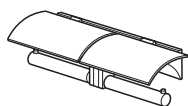
【手洗器下取付タイプ】



(1セット)

紙巻器

【メタル製】



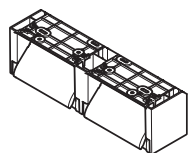
紙巻器本体
(1個)



なべタッピンねじ
4×40(4本)

【樹脂製】※ねじセットの番号は各袋に記載の番号です。

紙巻器本体
(1個)



コーナースペース
(2個)

ねじセット①



なべタッピンねじ
4.5×40(4本)



平座金
(4個)

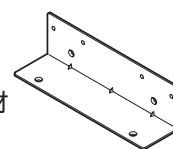
ねじセット④



トラスタッピンねじ
4×14(4本)

紙巻器固定材※メタル製紙巻器の場合

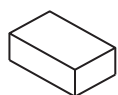
紙巻器固定材
(1個)



皿タッピンねじ
4×40(2本)

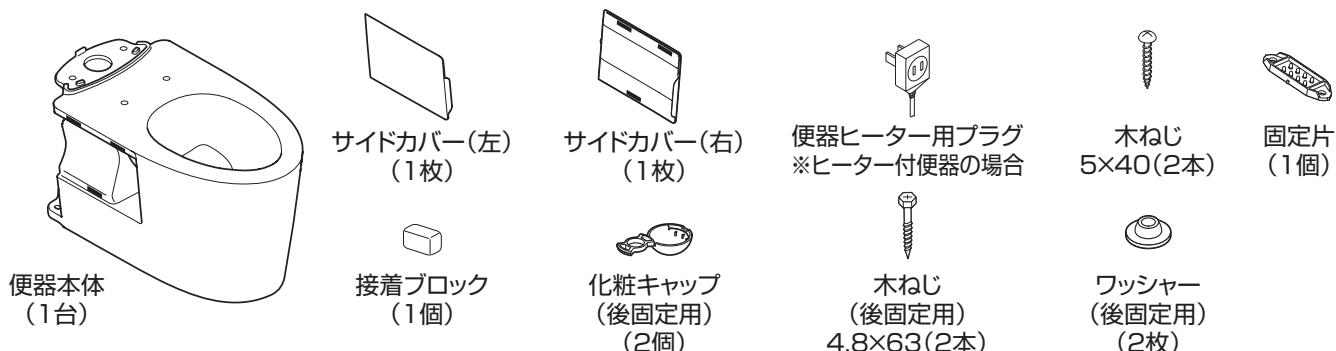


皿タッピンねじ
4×16(2本)

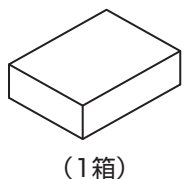


その他包装

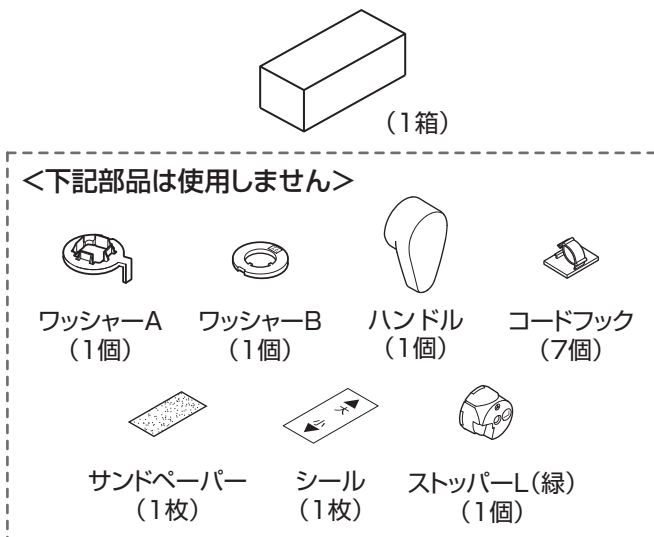
大便器



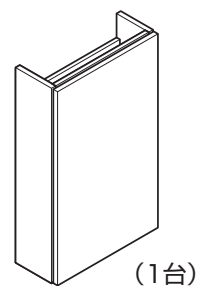
ウォシュレット



便器洗浄ユニット



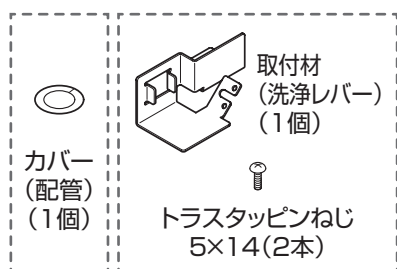
手洗器キャビネット



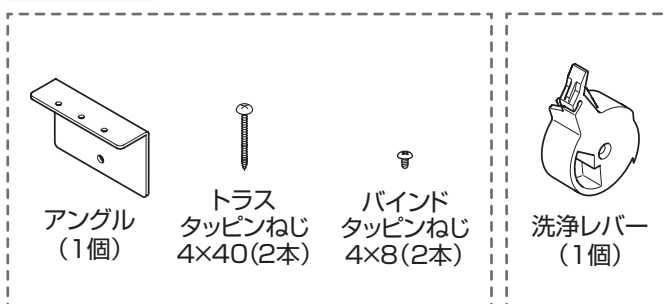
付属材セット (キャビネット)

取付材セット

※図はスリム収納タイプの場合



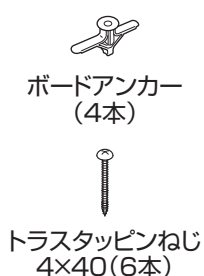
付属材セット



ホースクランプセット



ねじセット(キャビネット用)

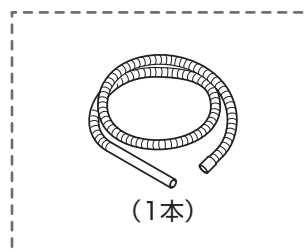


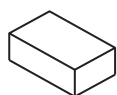
排水管用固定材セット



【まるごと収納タイプの場合】

手洗器用排水ホース



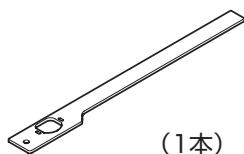


その他包装 (つづき)

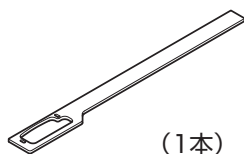
カウンター

上段カウンター

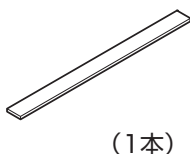
【ベッセルタイプ(丸形)】



【ベッセルタイプ(角形)】



【ハイバックタイプ】



ブラケットセット



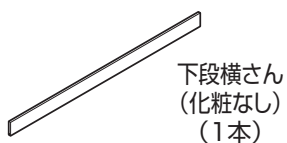
なべワッシャー
タッピンねじ
4×16(9本)

トラス
タッピンねじ
4×30(6本)

※カウンターの長さにより使用数が異なります。

横さん

【ベッセルタイプ】

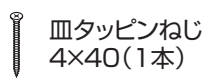


【ハイバックタイプ】



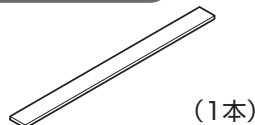
皿タッピンねじ
4×40(4本)
※カウンターの長さにより
使用数が異なります。

ねじセット



低頭タッピンねじ
4.5×50キャップ付(8本)
※カウンターの長さにより
使用数が異なります。

下段カウンター



ブラケットセット

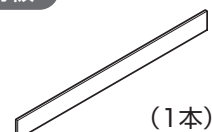


なべワッシャー
タッピンねじ
4×16(6本)

トラス
タッピンねじ
4×20(6本)

※カウンターの長さにより
使用数が異なります。

幕板



付属材セット

取付材
(4個)

アングル
(7個)

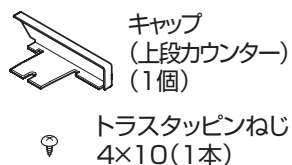
座金組込
化粧ねじ
4×12(3本)

トラス
タッピンねじ
4×10(22本)

※カウンターの長さにより
使用数が異なります。

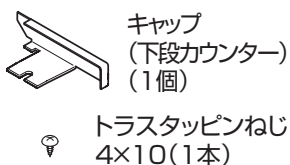
キャップセット

【上段カウンター】



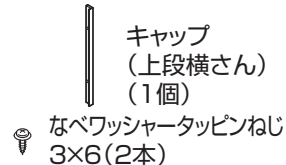
トラスタッピンねじ
4×10(1本)

【下段カウンター】



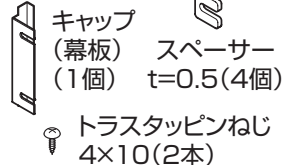
トラスタッピンねじ
4×10(1本)

【上段横さん】



なべワッシャータッピンねじ
3×6(2本)

【幕板】



スペーサー
t=0.5(4個)

トラスタッピンねじ
4×10(2本)

取付材セット(排水ソケット)

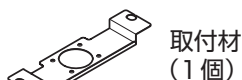
【ベッセルタイプ(丸形)】



【ベッセルタイプ(角形)】



【ハイバックタイプ】



座金組込なべ小ねじ
4×12(4本)

排水ソケットセット



パッキン(排水口)
(1個)

袋ナット
(1個)

パッキン(排水口)
(1個)

ドラムトラップ組品

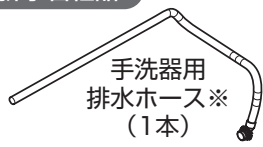


クイック
ファスナー
(1個)

排水管組品



排水管組品

※まるごと収納タイプ・
排水心200は使用
しません。

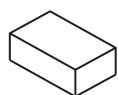
クイック
ファスナー
(1個)

付属材セット

トラス
タッピンねじ
4×12(2本)

結束バンド
(2個)

ホース
クランプ(大)
(2個)



その他包装（つづき）

手洗器

【ベッセルタイプ(丸形)】



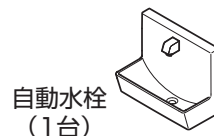
(1台)

【ベッセルタイプ(角形)】

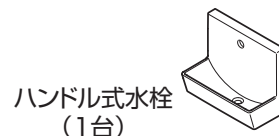


(1台)

【ハイバックタイプ】



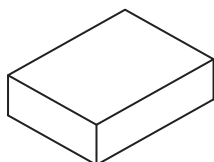
自動水栓
(1台)



ハンドル式水栓
(1台)

選択商品

電気温水器

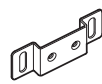


(1箱)

〈下記部品は使用しません〉



固定アングル1
(1個)



スペーサー
(1個)



スペーサー取付用ねじ
M4×5(2本)



固定アングル2
(1個)

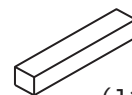


壁固定用
タッピンねじ
4×30(2本)



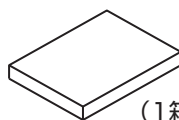
固定アングル
取付用ねじ
M4×10(2本)

木製手すり



(1箱)

化粧鏡



(1箱)

オプション

エンドパネル

エンドパネル
(1枚)



施工部材セット(エンドパネル用)

ねじセット



アングル材
(3個)



トラス小ねじ
4×18(2本)



トラスタッピンねじ
4×30(9本)



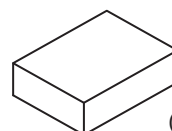
トラスタッピンねじ
4×12(8本)

ボードアンカー



※タイプ・現場状況により
必要数量が異なります。

バックパネル



(1箱)

4. 施工ダイジェスト

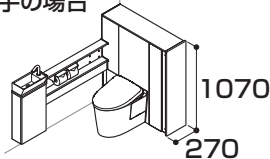
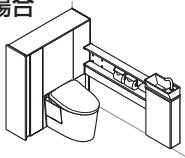
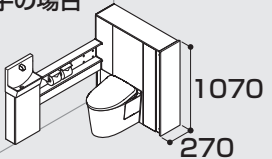
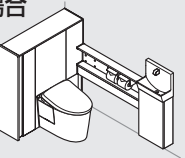
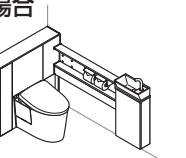
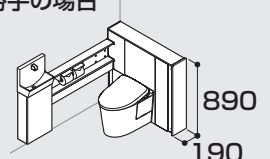
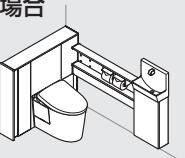
施工ダイジェストはおおよその施工の流れをご理解いただくためのものです。

施工にあたっては、手順編の内容を十分に確認し、安全上のご注意、施工上のご注意を必ずお守りください。

1. エンドパネル(オプション)	2. アングル	3. 側板組品 (手洗器設置側)	4. 止水栓
5. 排水ソケット	6. 大便器	7. コアキャビネット	8. セットタンク
9. ウォシュレット	10. 棚板	11. 扉	12. 固定扉
13. 手洗器キャビネット・カウンター・幕板	14. 手洗器・水栓金具	15. 給排水部材 (手洗器)	16. 試運転・確認
17. 天板	18. 仕上げ		

手順編

※商品タイプの確認 ▶ P.2

まるごと収納タイプ		スリム収納タイプ	
ベッセルタイプ(丸形/角形)	ハイバックタイプ	ベッセルタイプ(丸形/角形)	ハイバックタイプ
左勝手の場合  右勝手の場合 	左勝手の場合  右勝手の場合 	左勝手の場合  右勝手の場合 	左勝手の場合  右勝手の場合 

1. エンドパネル（オプション）	▶ 24
2. アングル	▶ 25
3. 側板組品（手洗器設置側）	▶ 26
4. 止水栓	▶ 28
5. 排水ソケット	▶ 35
6. 大便器	▶ 43
7. コアキャビネット	▶ 45
8. セットタンク	▶ 48
9. ウォシュレット	▶ 52
10. 棚板	▶ 56
11. 扉	▶ 58
12. 固定扉	▶ 60
13. 手洗器キャビネット・カウンター・幕板	▶ 63
14. 手洗器・水栓金具	▶ 79
15. 給排水部材（手洗器）	▶ 86
16. 試運転・確認	▶ 93
17. 天板	▶ 101
18. 仕上げ	▶ 105

マーク説明（例）



寒冷地仕様の場合を示します。



下穴をあけてください。
(例:φ3の場合)



手締めで
電動ドライバー使用禁止です。
手締めしてください。



シール
シールテープを巻いて
ください。



脱脂
脱脂用アルコールで
脱脂してください。

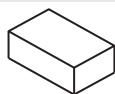


外周塗布
塩ビ用接着剤を塗布して
ください。
(例:塗布の場合)

1. エンドパネル (オプション)

エンドパネルなしの場合は
P.25 「2. アングル」 へ

使用部材



その他包装

エンドパネル

エンドパネル
(1枚)



施工部材セット(エンドパネル用)



アングル材
(3個)

ねじセット



トラスタッピンねじ
4×30(9本)



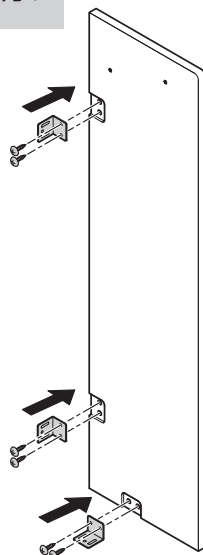
トラスタッピンねじ 4×12(8本)※
※残り2本は4. 止水栓で
使用

1 アングル材の取り付け

1 手締めで



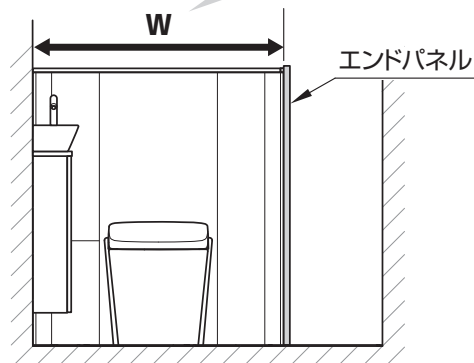
トラスタッピンねじ
4×12(6本)



3 エンドパネルの取り付け

【完成イメージ】

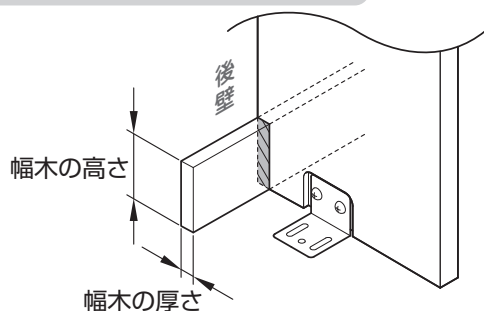
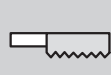
1 測定



2 エンドパネルのカット

幅木がある場合

1 測定 → けがき → カット



2 けがき → 下穴



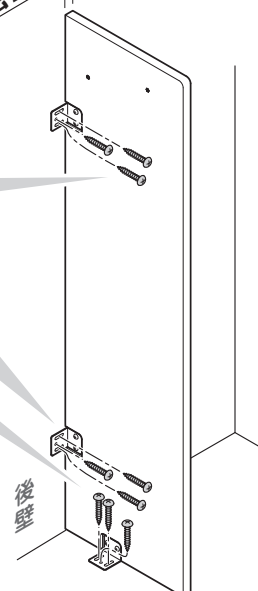
φ3

3 トラスタッピンねじ
4×30(9本)



間口寸法W

18

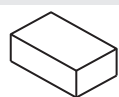


2. アングル

2

アングル

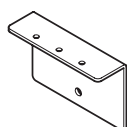
使用部材



その他包装

付属材セット (キャビネット)

付属材セット



アングル
(1個)



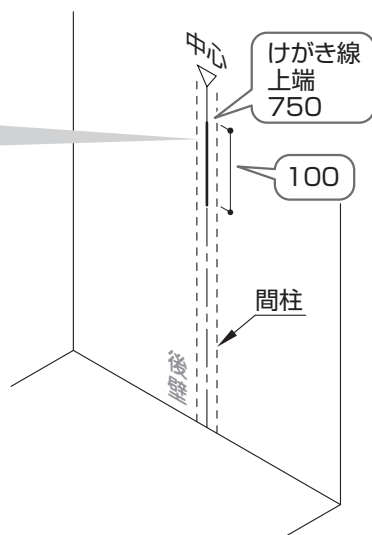
トラス
タッピングねじ
4×40 (2本)

1 アングルの取り付け

1 けがき

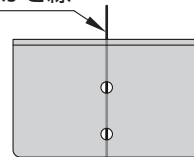


【壁裏補強なしの場合】
間柱中心
【壁裏補強ありの場合】
間口中心



2 けがき線と固定穴の位置をあわせる

けがき線



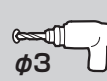
アングル

3 水平確認



アングルの水平が出ていないと、キャビネット全体が傾き、扉の開閉ができなくなる可能性があります。

4 けがき → 下穴

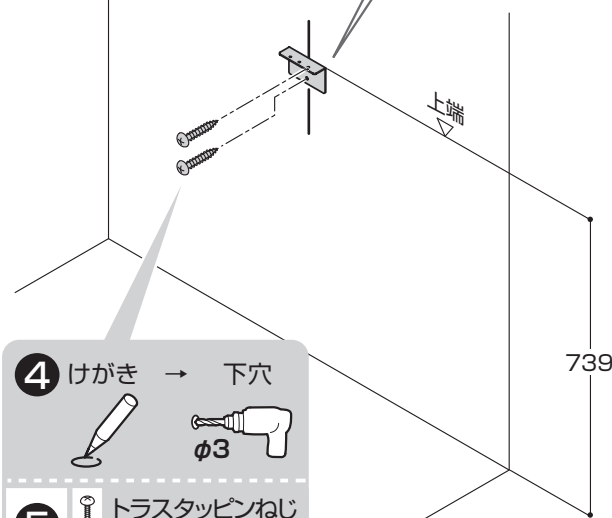


φ3

5

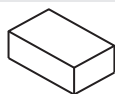


トラスタッピングねじ
4×40 (2本)



3. 側板組品（手洗器設置側）

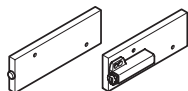
使用部材



コアキャビネット

コアキャビネット

側板組品（手洗器設置側）



側板組品
(1セット)



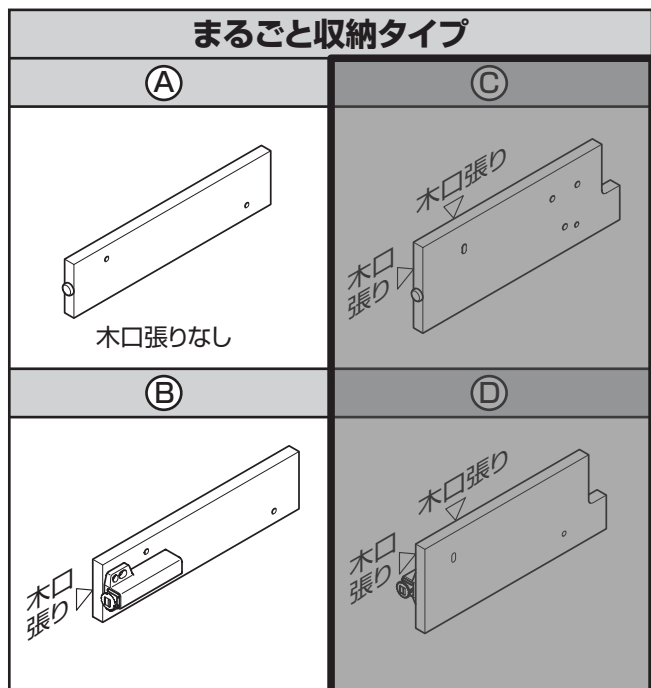
トラスタッピンねじ
4×40 (6本)

※残り2本は7.コアキャビネットで使用

MEMO

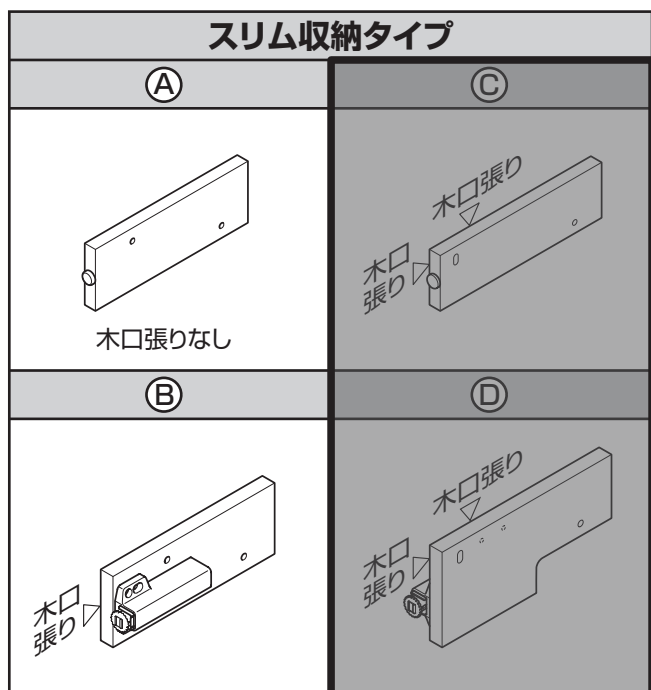
側板組品の種類

まるごと収納タイプ



③④はP.47「7.コアキャビネット」
5 側板組品の取り付けで使用

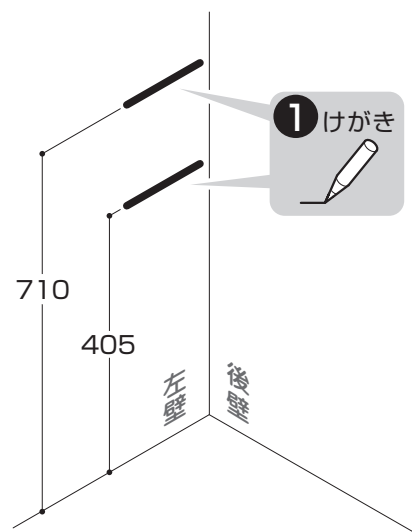
スリム収納タイプ



③④はP.47「7.コアキャビネット」
5 側板組品の取り付けで使用

1 側板組品のけがき

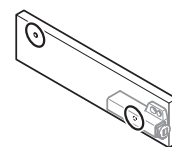
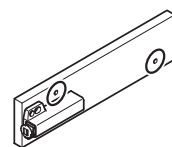
※図は左勝手の場合です。
右勝手の場合は右壁にけがいてください。



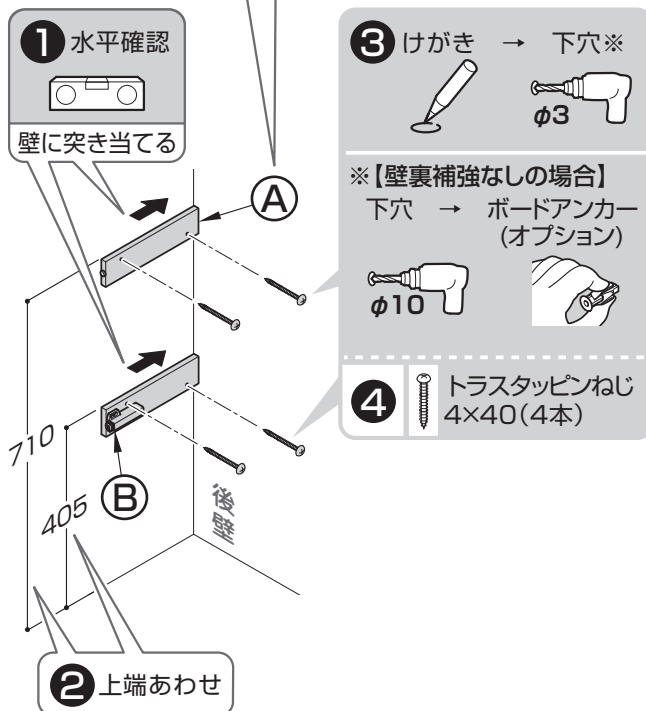
2 側板組品の取り付け

左右勝手によりねじ取付位置が異なります

①②ともにR/L共通のためねじ取付位置が左右反対になります
【左勝手】 【右勝手】



※図は②の場合



4. 止水栓

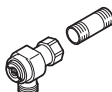
使用部材

詰め合わせ箱

止水栓

【給水新設用】

壁給水



(1セット)

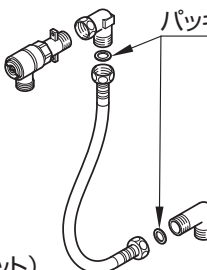
床給水



(1セット)

【既存給水流用】

※水抜方式の場合は【床給水】を使用します。



パッキン

(1セット)



固定板
(1個)



なべ小ねじ
M4×8(2本)



座金付
タッピンねじ
4.5×38(2本)

詰め合わせ箱（手洗器キャビネット用）

フレキホース



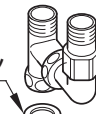
※ニップル

パッキン

(1本)

※手洗器がハイバックタイプかつ
ハンドル式水栓の場合のみ同梱
15.給排水部材（手洗器）で使用

分岐金具

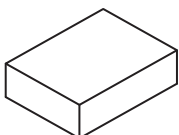


パッキン

(1個)

その他包装

ウォシュレット



(1箱)

付属材セット（キャビネット）



カバー
(配管)
(1個)

排水管固定材セット



ホースクランプ
(3個)



トラスタッピンねじ
4×40(3本)

MEMO

28

給水新設の場合

▶P.29

既存給水流用 一般地/ 流動方式の場合

▶P.31

既存給水流用 水抜方式の場合

▶P.33

給水新設

1 止水栓・分岐金具の取り付け

⚠ 注意

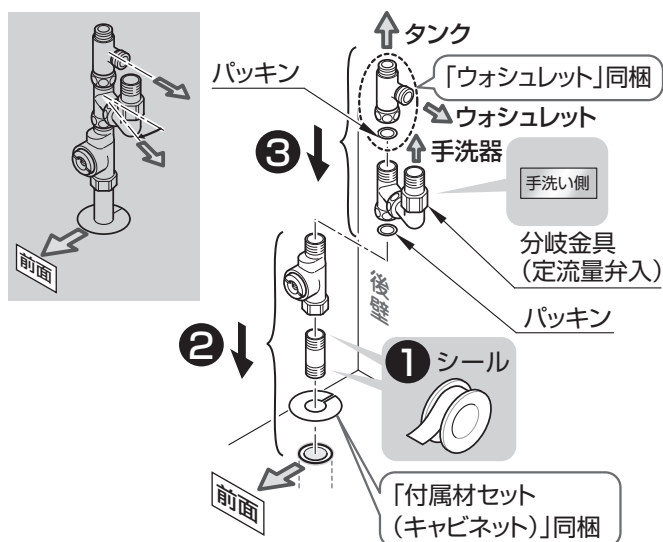


必ず守る

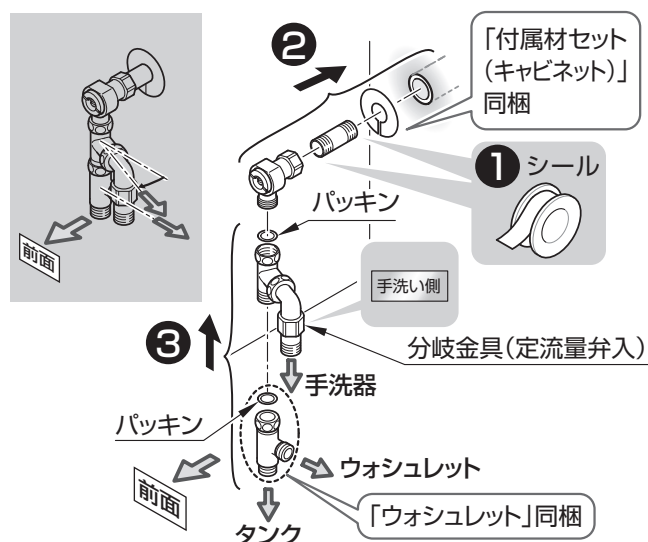
止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓
(フィルター付き)を取り付ける
設置いただけない場合、フィルターがない
ため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみ
や異物詰まりによる止水・吐水不良を起こす
おそれがあります。

※取付位置は左右勝手とも正面向かって左となります

床給水

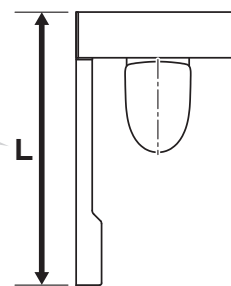


壁給水

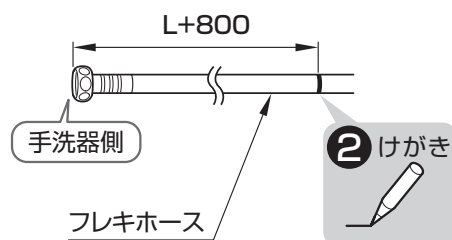


2 ホースクランプ固定位置のけがき

1 測定

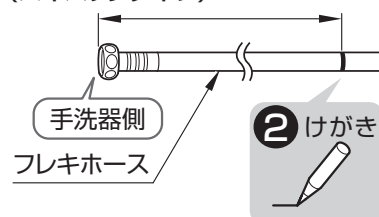


自動水栓の場合



ハンドル式水栓の場合

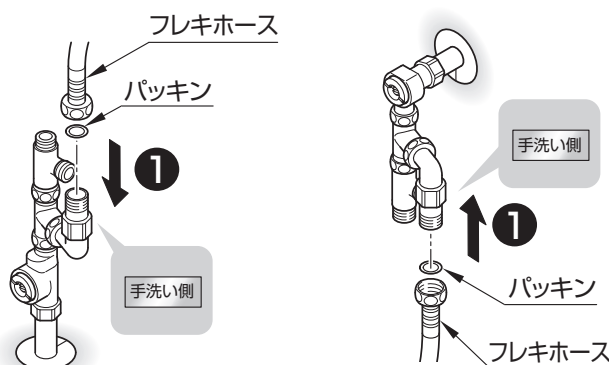
L+690(ベッセルタイプ(丸形)/ベッセルタイプ(角形)・右勝手)
L+470(ベッセルタイプ(角形)・左勝手)
L-290(ハイバックタイプ)



3 フレキホースの取り付け

床給水

壁給水



2 ホースクランプで固定する



トラスタッピンねじ
4×40 (3本)

「付属材セット
(キャビネット)」同梱

※フレキホースの取り回しは 4 参照

4 フレキホースの取り回し

警告



禁止

ホースは電源プラグ・コンセントの上を通したり、電源プラグ・コンセントに接触させたりしない
結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。

注意事項・マーク説明



ホース固定位置
(**2**ホースクランプ固定位置のけがき箇所を固定)



ホース取り回し範囲



ホース固定位置
(任意の箇所を固定)

※下図は間口750mmの場合です。

間口寸法751mm以上の場合は、下図を参考に給水ホース取り回し範囲内でホースを取り回し、固定してください。

水抜方式の場合

※ホース取り回しは床から175mm以上確保してください。
(水が抜けず、凍結する場合があります。)

床給水

	左勝手	右勝手
一般地 流動方式		
水抜方式		

壁給水

	左勝手	右勝手
一般地		

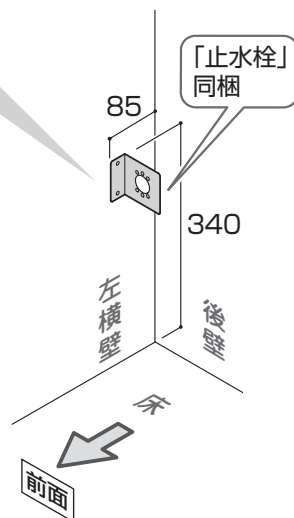
既存給水流用 一般地 / 流動方式 **1 止水栓・分岐金具の取り付け****⚠ 注意**

必ず守る

止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓
(フィルター付き)を取り付ける
設置いただけない場合、フィルターがない
ため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみ
や異物詰まりによる止水・吐水不良を起こす
おそれがあります。

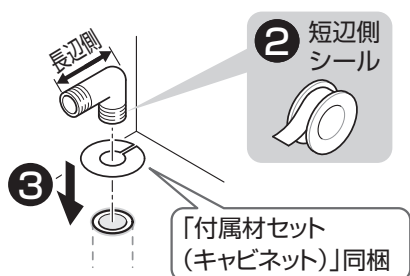
1 けがき → 下穴※

※【壁裏補強なしの場合】

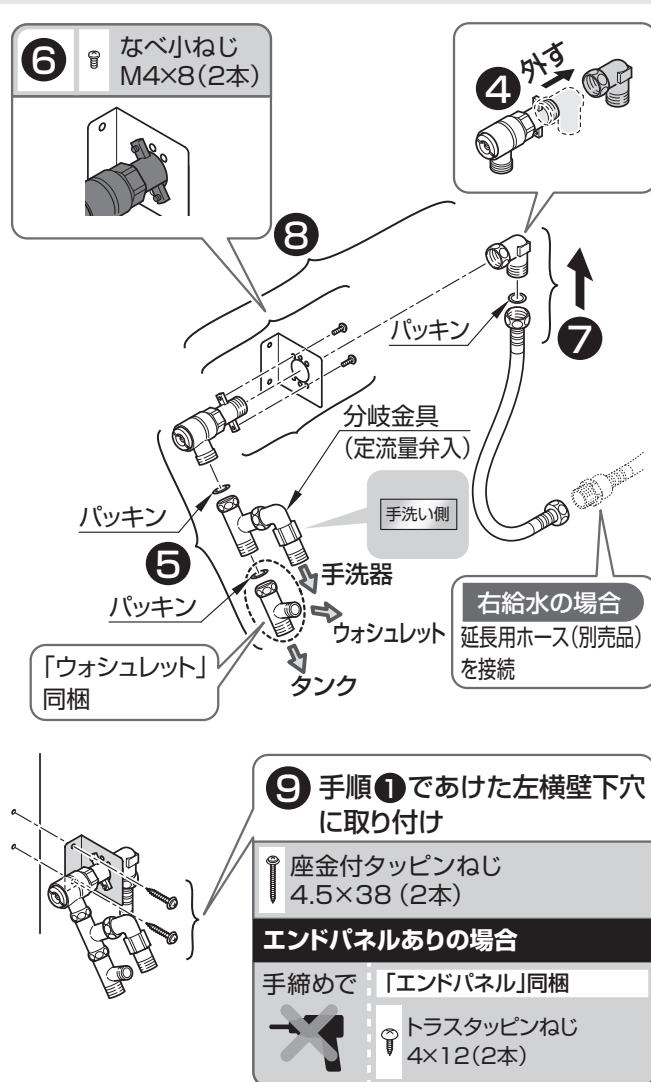
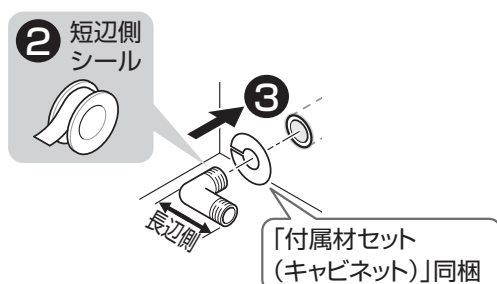
下穴 → ボードアンカー
(オプション)

※図は止水栓が左側にある場合

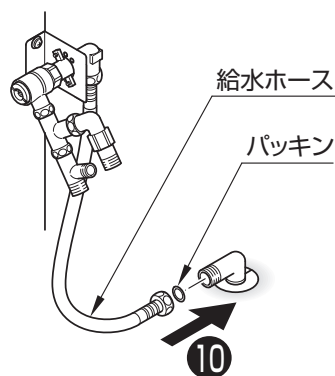
床給水



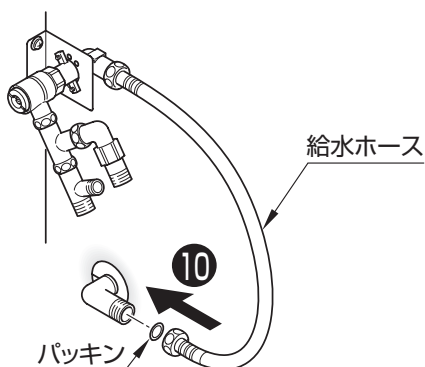
壁給水



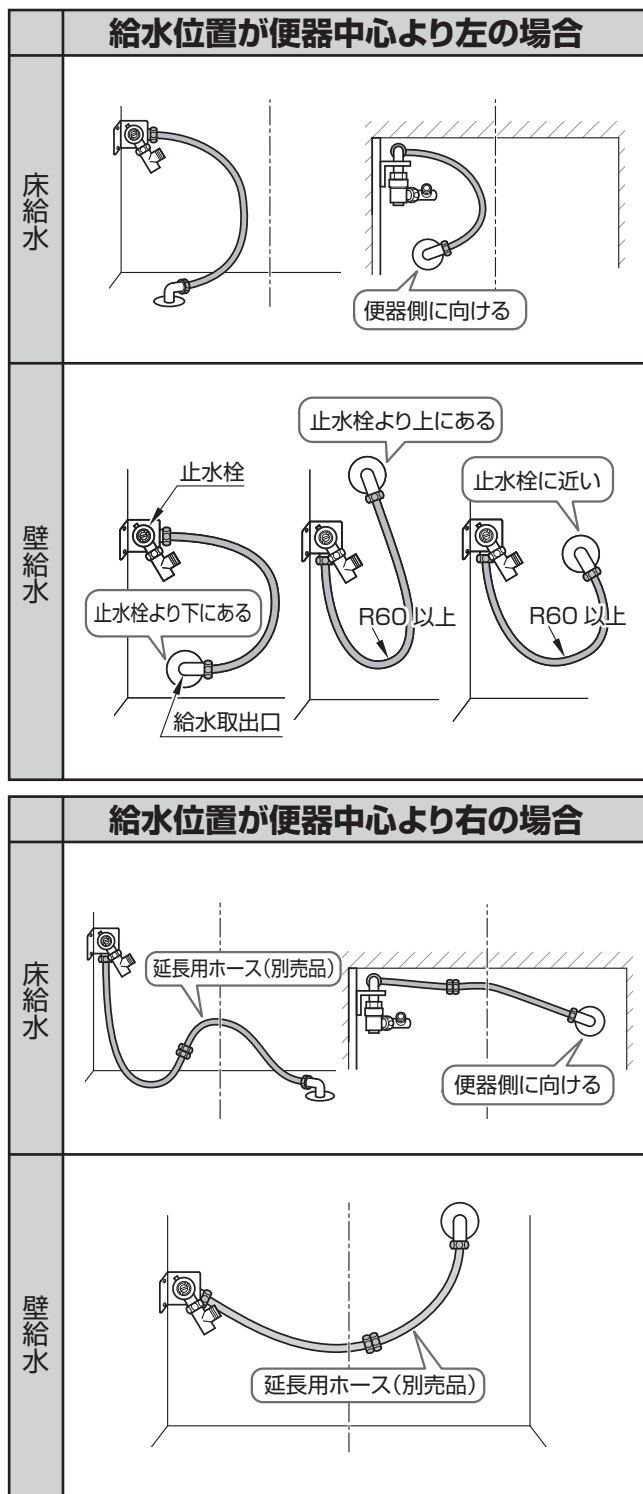
床給水



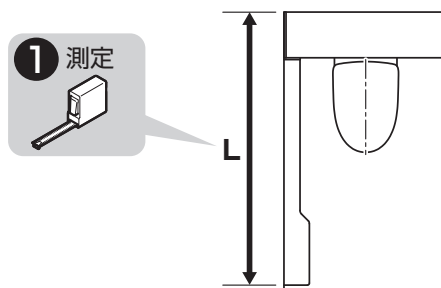
壁給水



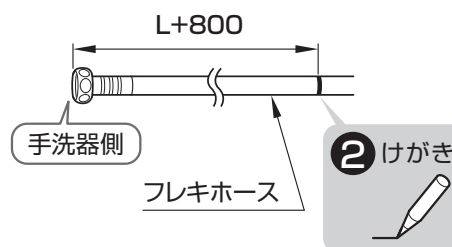
2 給水ホースの取り直し



3 ホースクランプ固定位置のけがき

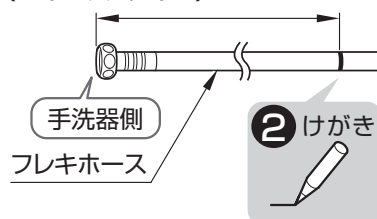


自動水栓の場合

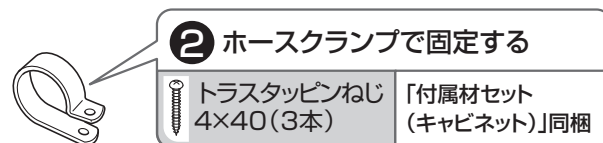
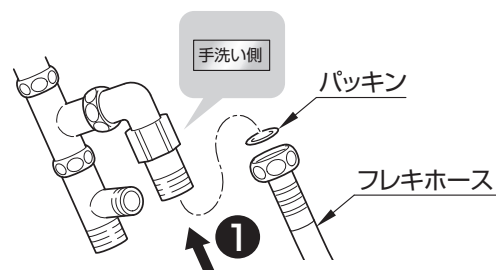


ハンドル式水栓の場合

L+690(ベッセルタイプ(丸形)/ベッセルタイプ(角形)・右勝手)
L+470(ベッセルタイプ(角形)・左勝手)
L-290(ハイバックタイプ)



4 フレキホースの取り付け



※フレキホースの取り直しは **5** 参照

5 フレキホースの取り回し

警告



禁止

ホースは電源プラグ・コンセントの上を通したり、電源プラグ・コンセントに接触させたりしない。結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。

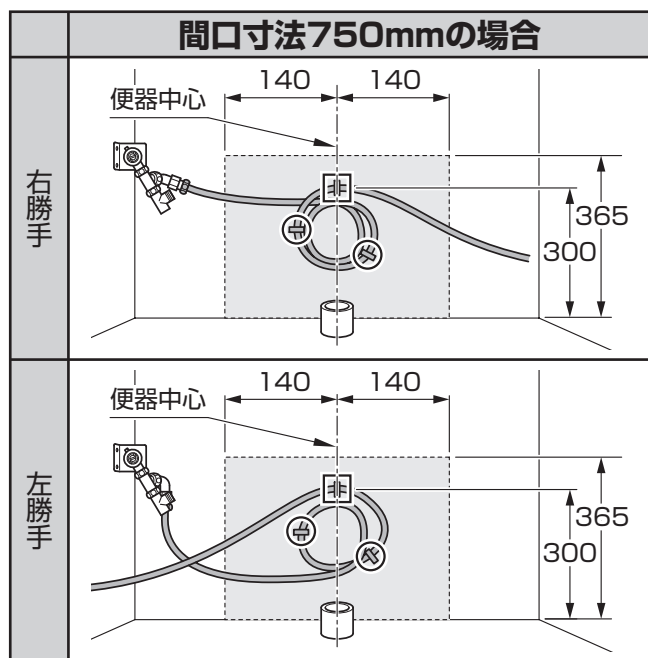
注意事項・マーク説明

□ : ホース固定位置
(**③** ホースクランプ固定位置のけがき箇所を固定)

□ : ホース取り回し範囲

○ : ホース固定位置
(任意の箇所を固定)

※下図は間口750mmの場合です。
間口寸法751mm以上の場合、下図を参考に給水ホース取り回し範囲内でホースを取り回し、固定してください。



☞ P.35 5.排水ソケットへ

既存給水流用 水抜方式

1 止水栓・分岐金具の取り付け

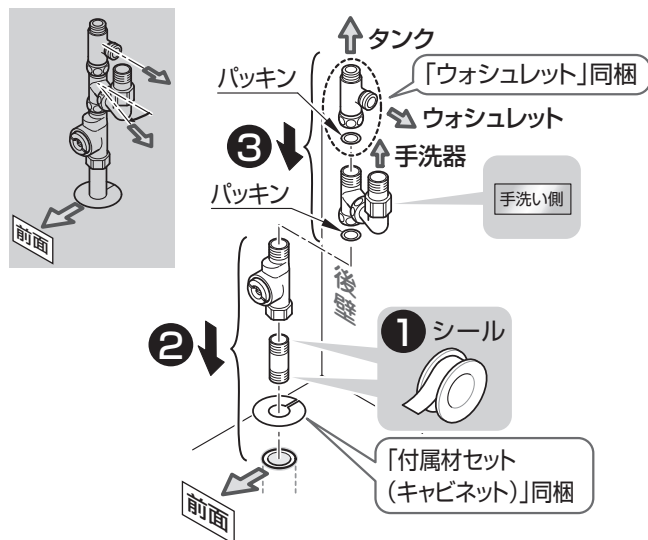
注意



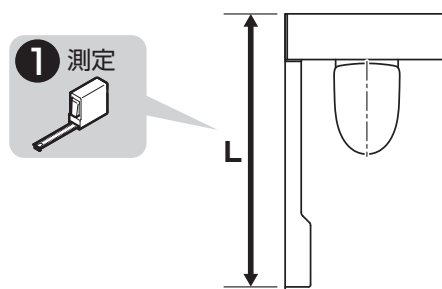
必ず守る

止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓（フィルター付き）を取り付ける。設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

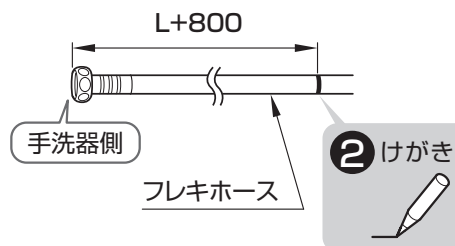
※止水栓が右側にある場合、左右対称となります。



2 ホースクランプ固定位置のけがき

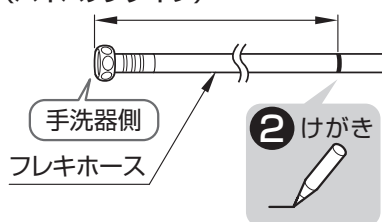


自動水栓の場合

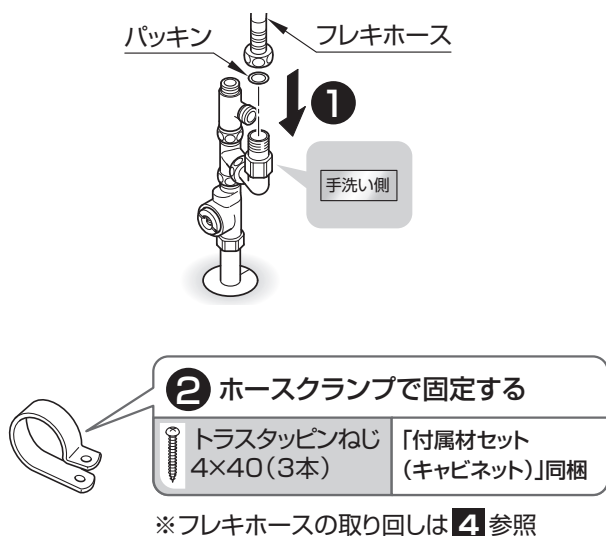


ハンドル式水栓の場合

L+690(ベッセルタイプ(丸形)/ベッセルタイプ(角形)・右勝手)
L+470(ベッセルタイプ(角形)・左勝手)
L-290(ハイバックタイプ)



3 フレキホースの取り付け



4 フレキホースの取り回し

警告



禁止

ホースは電源プラグ・コンセントの上を通したり、電源プラグ・コンセントに接触させたりしない。結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。

注意事項・マーク説明



ホース固定位置

(**2** ホースクランプ固定位置のけがき箇所を固定)



ホース取り回し範囲



ホース固定位置

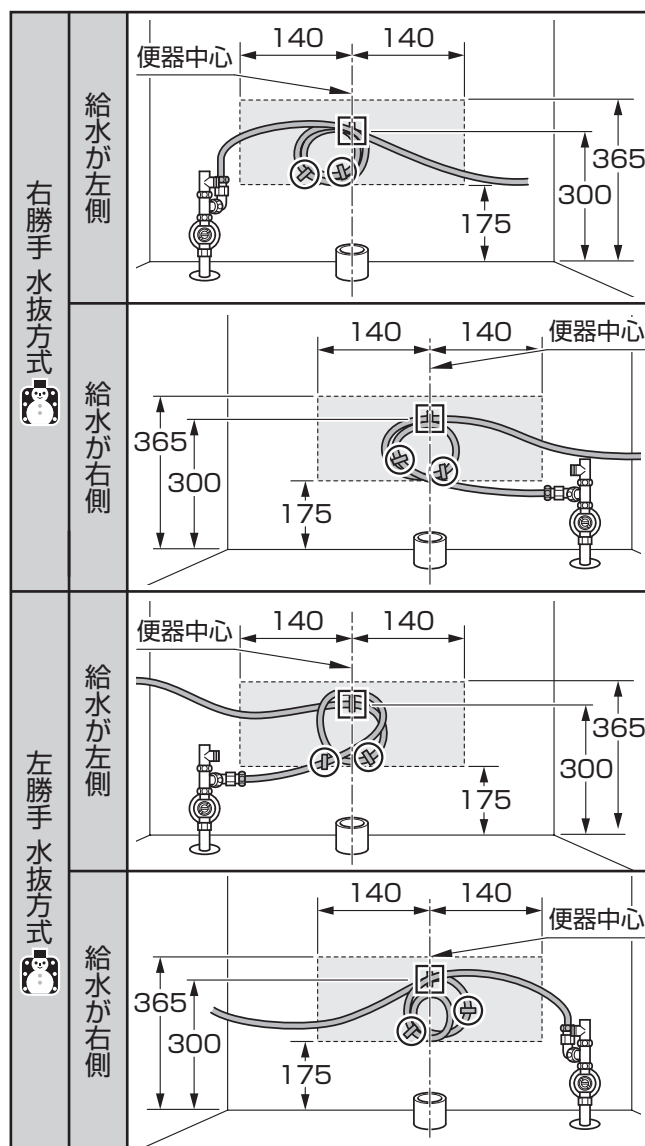
(任意の箇所を固定)

※下図は間口750mmの場合です。

間口寸法751mm以上の場合は、下図を参考に給水ホース取り回し範囲内でホースを取り回し、固定してください。

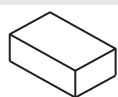
水抜方式の場合

ホース取り回しは床から175mm以上確保してください。(水が抜けず、凍結する場合があります)



5. 排水ソケット

使用部材



詰め合わせ箱

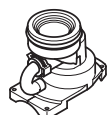
排水ソケットセット

排水ソケットユニット

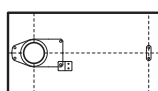
※図はまるごと収納タイプ・排水心200

【まるごと収納タイプ・排水心200】

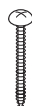
【スリム収納タイプ・排水心200】



排水ソケット
(1個)



位置決めシート
(1枚)



トラスタッピンねじ
5×50(4本)

【排水心可変】



便器接続部
(1個)



床フランジ接続部
(1個)



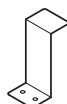
横引管
(1個)



Pシール
(金属フランジ用)
(1個)

※まるごと収納タイプ・排水心200の場合

配管支持材セット



配管支持材
(1個)



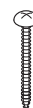
トラスタッピンねじ
4×30(2本)



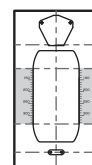
Pシール
(樹脂フランジ用)
(1個)



Tボルト
(2本)



トラスタッピンねじ
6×60(2本)



位置決めシート
(1枚)



その他包装

付属材セット (キャビネット)

排水管固定材セット



取付材
(3個)※1



皿タッピンねじ
4×40(2本)



結束バンド
(2個)※2

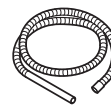
※1 残り1個は15.給排水部材(手洗器)で使用

※2 残り1個は16.試運転・確認で使用

まるごと収納タイプ・排水心200の場合、この手順では使用しません。

【まるごと収納タイプの場合】

手洗器用排水ホース

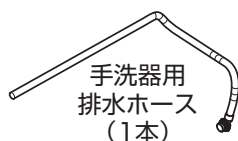


(1本)

カウンター

【スリム収納タイプ・排水心200/排水心可変の場合】 ※まるごと収納タイプ・排水心200は使用しません。

排水管組品



手洗器用
排水ホース
(1本)



クイック
ファスナー
(1個)

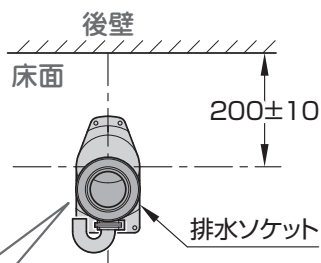
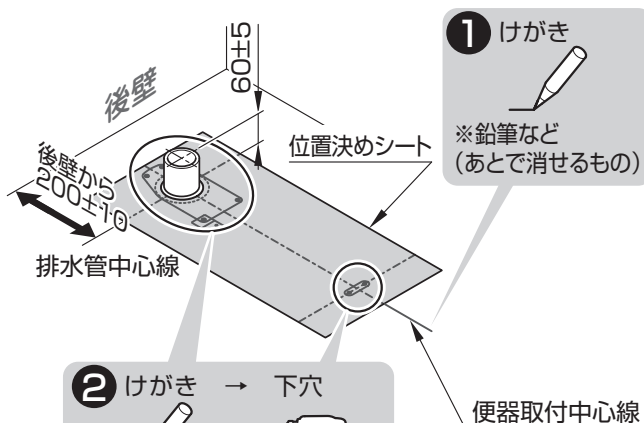
MEMO

排水心200mmの場合	まるごと収納タイプ	▶P.36
	スリム収納タイプ	▶P.38
排水心可変の場合	全タイプ共通	▶P.40

排水心 200mm

1 排水ソケットの取り付け

まるごと収納タイプ



3 向き確認

排水ソケットを間違った方向に取り付けると、便器の施工ができなくなります。

! 注意



必ず守る

接着剤は必ず、排水ソケットと排水管の両方の正しい位置に塗布する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。また、臭気漏れの原因となります。

5 内周塗布

※排水管の種類によって塗布位置が異なります。



VP・VU75の場合

VP・VU100の場合

6 外周塗布



4 切断面のバリ、汚れを除去する

必ず行うこと

! 注意



必ず守る

排水ソケットは下面が床面に当たるまで押し込む
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。また、臭気漏れの原因となります。

10

長いビット

トラスタッピンねじ
5×50(4本)

9 押し込む

11 取り付け

8 けがいた穴位置、中心線にあわせる

13

トラスタッピンねじ
4×30(2本)

配管支持材

12 U字管を横向きにする

2 手洗器用排水ホースの取り付け

手洗器用排水ホース取り回し

手洗器左勝手

手洗器右勝手

後壁

後壁

① 両面塗布

塩ビ用
接着剤

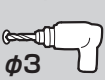
②

カウンターセットに同梱
されている手洗器用排水
ホースを使用しないこと

U字管

※右勝手の場合は左右反転となります。

③ けがき → 下穴※

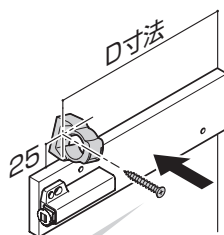


φ3

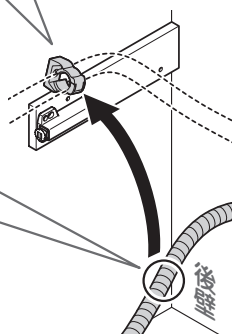
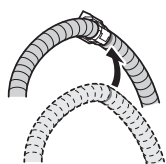
※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー
(オプション)

φ10

④ 皿タッピンねじ
4×40(1本)D寸法
195

⑤ 取付材に固定



⑥ けがき → 下穴※



φ3

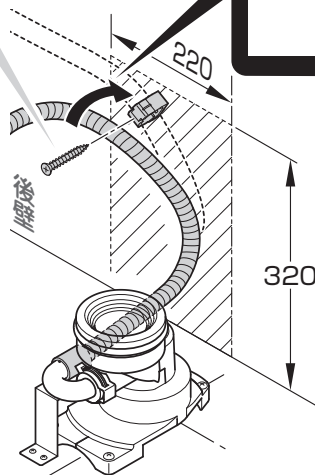
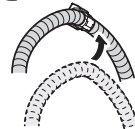
※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー
(オプション)

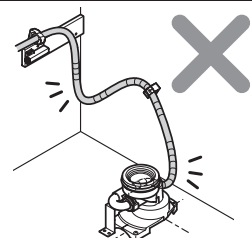
φ10

⑦

皿タッピンねじ
4×40(1本)
斜線範囲内に
取り付けること

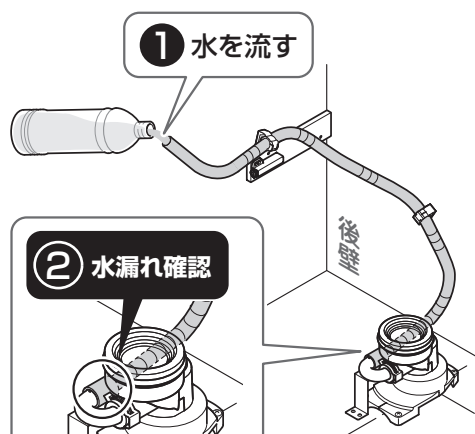
⑧ 取付材に
固定

手洗器用排水ホースがたるま
ないように固定する
手洗器から異音発生のおそれ
があります。



3 水漏れの確認

① 水を流す



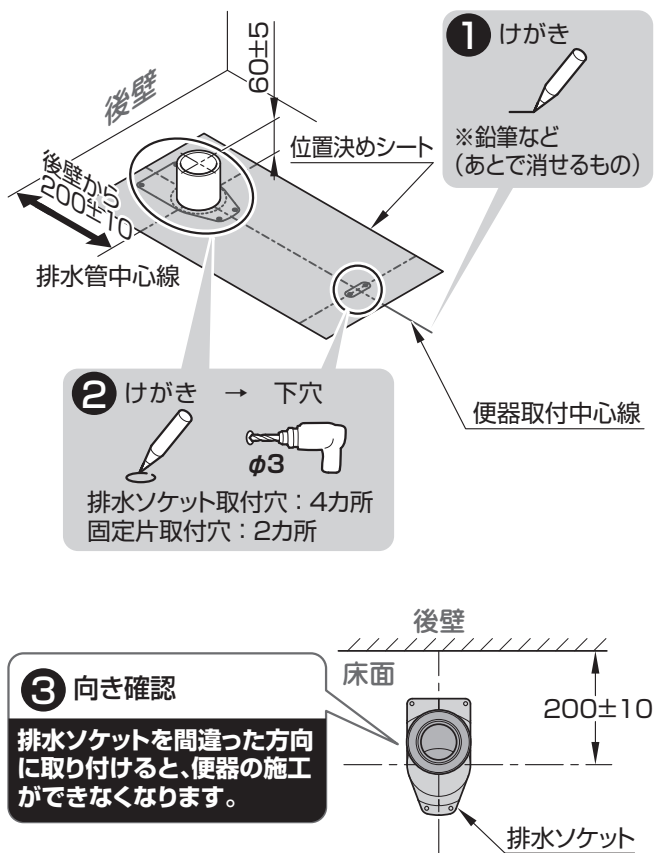
② 水漏れ確認



排水心 200mm

1 排水ソケットの取り付け

スリム収納タイプ

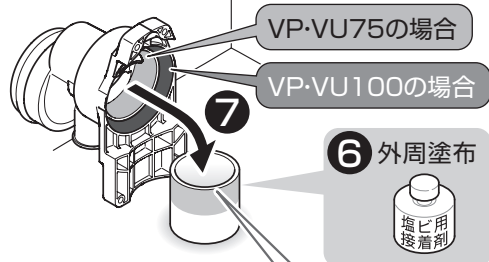


注意



接着剤は必ず、排水ソケットと排水管の両方
の正しい位置に塗布する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因
となります。また、臭気漏れの原因となります。

5 内周塗布 ※排水管の種類によって 塗布位置が異なります。

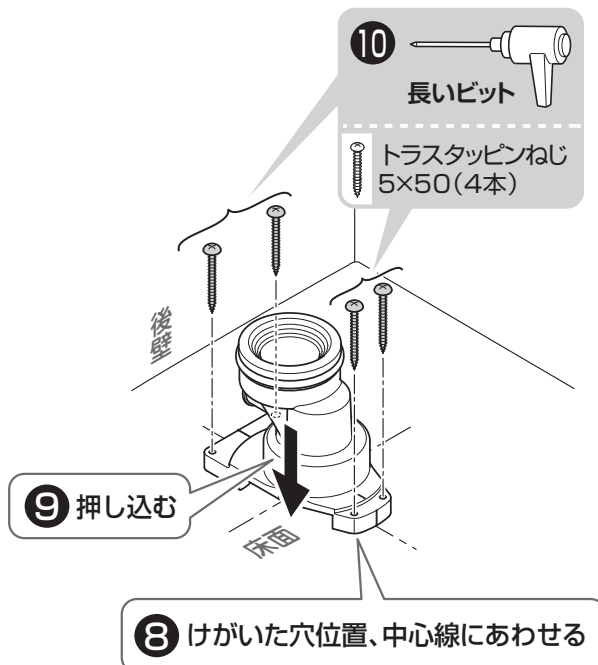


4 切断面のバリ、汚れを除去する 必ず行うこと

注意



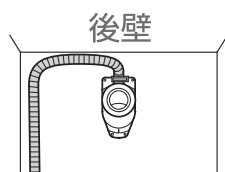
排水ソケットは下面が床面に当たるまで押し込む
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因
となります。また、臭気漏れの原因となります。



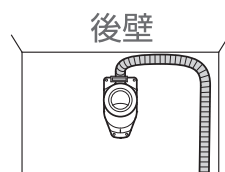
2 手洗器用排水ホースの取り付け

手洗器用排水ホース取り回し

手洗器左勝手



手洗器右勝手

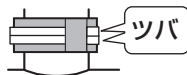


⚠ 注意

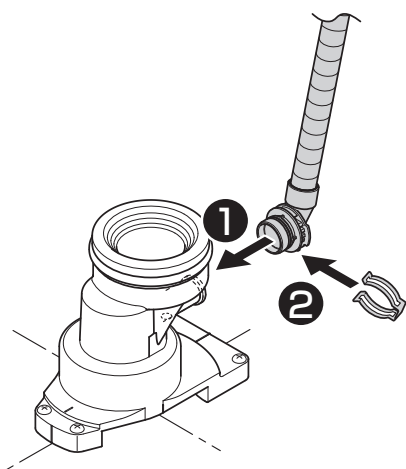
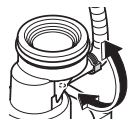


必ず守る

・クイックファスナーの全周にツバが
掛かっていることを
確認する



・クイックファスナーがスムーズに1回転
することを確認する
排水接続管にしわがよったり
破れたりして、水漏れし、家財
などをめらす財産損害発生の
原因となります。



※右勝手の場合は左右反転となります。

③ けがき → 下穴※

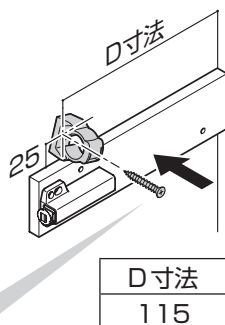
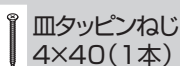


※【壁裏補強なしの場合】

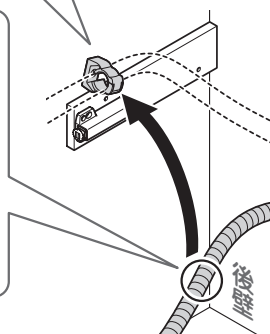
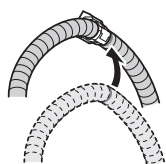
下穴 → ボードアンカー
(オプション)



④ 皿タッピンねじ 4×40(1本)



⑤ 取付材に固定



⑥ けがき → 下穴※

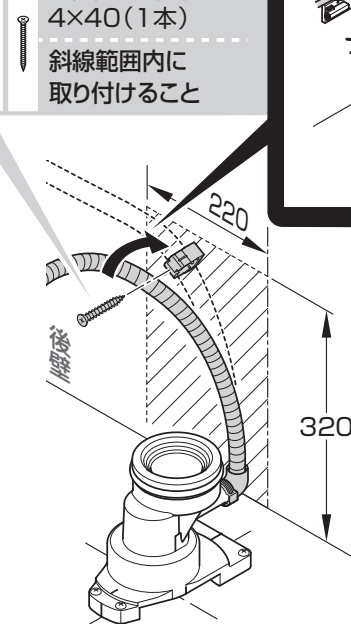


※【壁裏補強なしの場合】

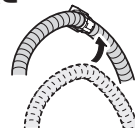
下穴 → ボードアンカー
(オプション)



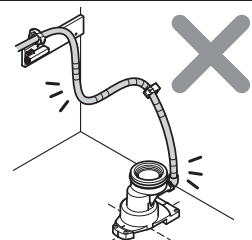
⑦ 皿タッピンねじ 4×40(1本) 斜線範囲内に 取り付けること



⑧ 取付材に 固定

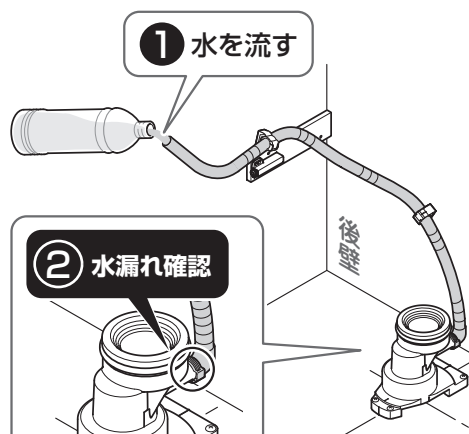


手洗器用排水ホースがたるま
ないように固定する
手洗器から異音発生のおそれ
があります。

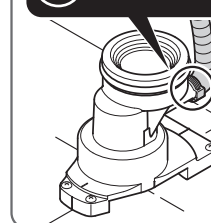


3 水漏れの確認

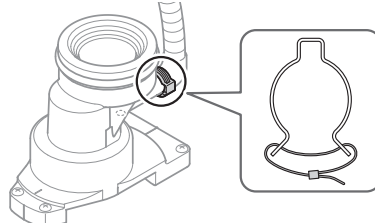
① 水を流す



② 水漏れ確認



③ 結束バンドの取り付け



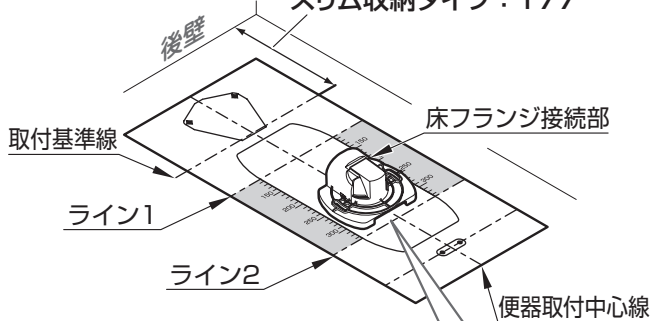
排水心可変

1 床フランジ接続部の仮設置

① Pシールを取り除く

② 位置決めシートを配置する

まるごと収納タイプ：257
スリム収納タイプ：177



③ 床フランジ接続部を
既設フランジの上に
仮置き



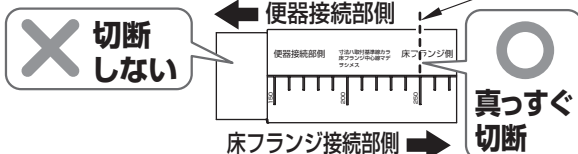
2 排水ソケットの組み立て

注意

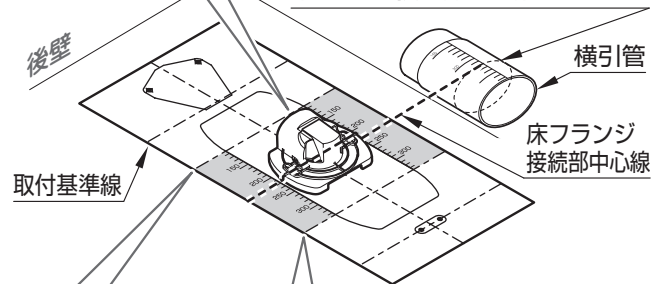


切断後、バリを取り除く
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

① 同じ目盛り位置で横引管を真っすぐに切断する
(例)測定寸法が250mmの場合



既設フランジ中心線と
床フランジ接続部中心線をあわせる



【ライン1の場合】 横引管は不要
【ライン2の場合】 横引管のカットは不要

注意



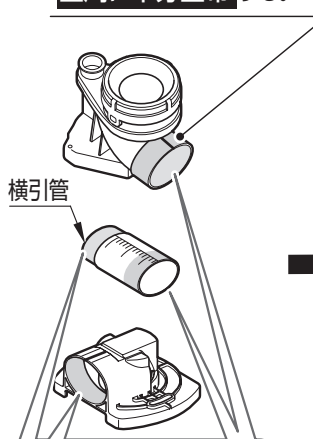
必ず守る

横引管は中心をあわせ、最後まできちんと
押し込む

水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因
となります。

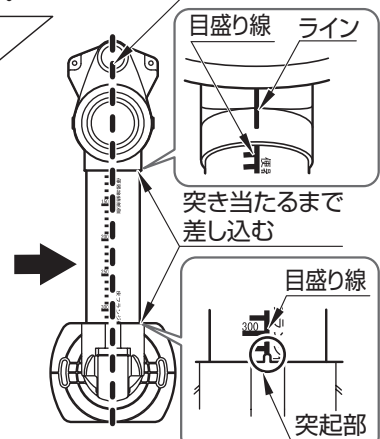
床面に対してがたつきがないように接着する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因
となります。

② 【横引管を使用しない場合】
この面にも塩ビ用接着剤を
全周に十分塗布する。



塩ビ用接着剤を
全周に十分塗布し、
各中心をあわせるように
組み立てる

③ ラインと突起部を目盛り線と
あわせて組み立てる
中心をあわせる



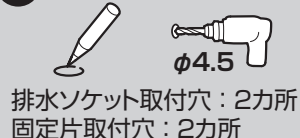
④ 床フランジ接続部を仮置きして、
がたつきがないか必ず確認する

3 排水ソケットの取り付け

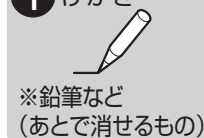
まるごと収納タイプ：257
スリム収納タイプ：177



② けがき → 下穴



① けがき



⚠ 注意

Pシール取り扱い上の注意

- ・既設の床フランジのタイプにあわせ、金属フランジ用Pシール(補修品番:TH633)または、樹脂フランジ用Pシール(補修品番:TH633-3)を使用する
- ・既設のフランジタイプによって、Pシールの取付方法が異なるので注意する

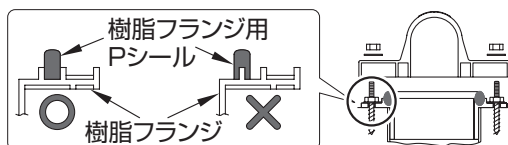
Pシールを間違えて取り付けると、洗浄不良などの不具合や便器が詰まり、汚水があふれたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

【樹脂フランジ用】

Pシールは必ずフランジ側にセットしてから、排水ソケットを上から押し付けてください。



必ず守る



Pシールは溝にきちんと取り付けてください。

【金属フランジ用】

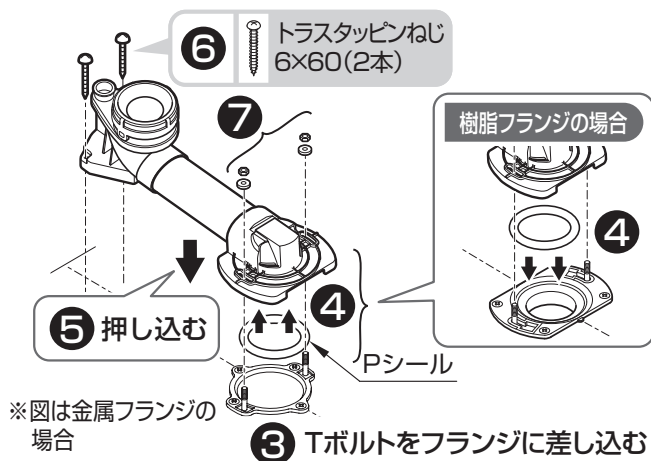
Pシールは必ず床フランジ接続部(排水アジャスター)にはめてから、フランジに押し付けてください。



【床フランジ接続部裏面】

※図は金属フランジの場合
Pシール

斜線内にはみ出さないこと



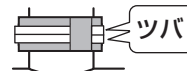
4 手洗器用排水ホースの取り付け

手洗器用排水ホース取り回し

手洗器左勝手	手洗器右勝手

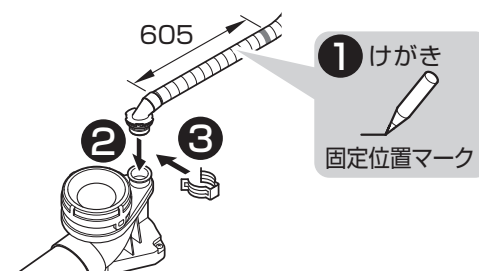
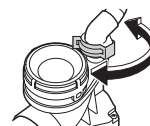
⚠ 注意

- ・クイックファスナーの全周にツバが掛かっていることを確認する



必ず守る

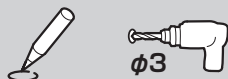
- ・クイックファスナーがスムーズに1回転することを確認する
排水接続管にしわがよったり破れたりして、水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



MEMO

※右勝手の場合は左右反転となります。

4 けがき → 下穴※

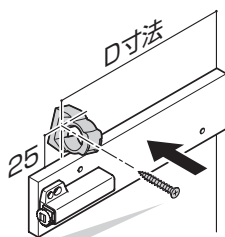


※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー
(オプション)

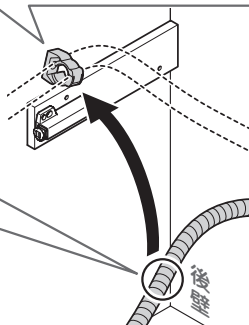
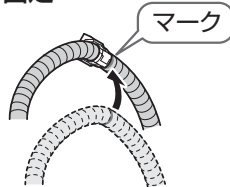


5 皿タッピンねじ 4×40(1本)

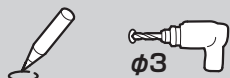


	D寸法
まるごと収納 タイプ	195
スリム収納 タイプ	115

6 ホースを配管固定材に 固定



7 けがき → 下穴※



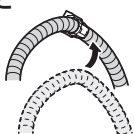
※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー
(オプション)

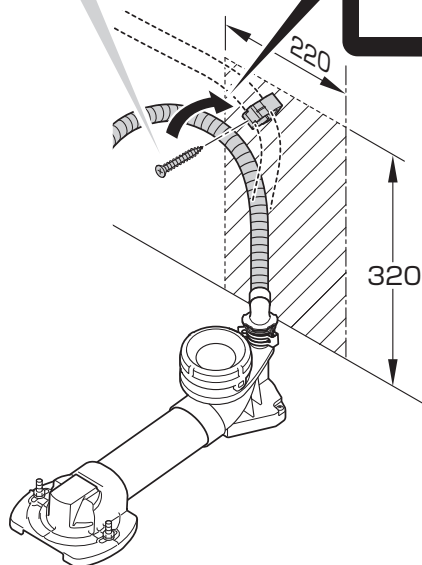
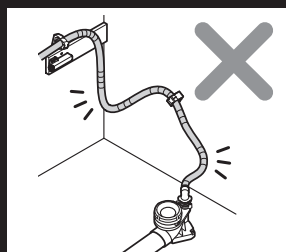


8 皿タッピンねじ 4×40(1本) 斜線範囲内に 取り付けること

9 取付材に 固定

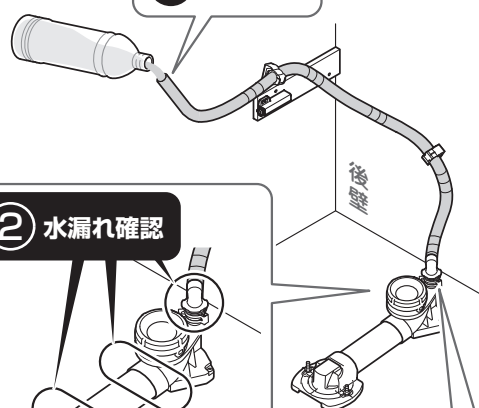


手洗器用排水ホースがたるま
ないように固定する
手洗器から異音発生のおそれ
があります。

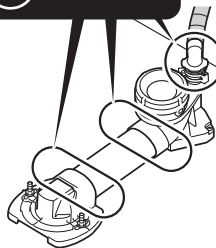


5 水漏れの確認

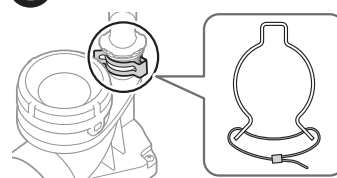
1 水を流す



2 水漏れ確認



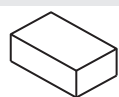
3 結束バンドの取り付け



MEMO

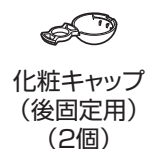
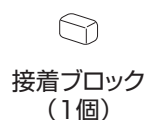
6. 大便器

使用部材

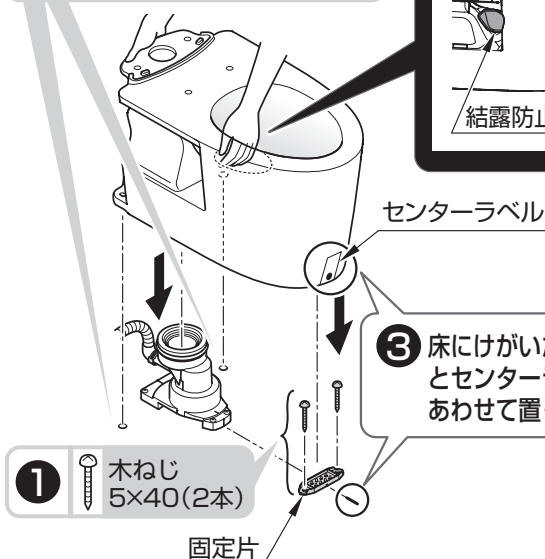
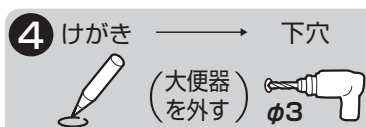


その他包装

大便器



1 大便器固定の準備



5 便器をいったん外す

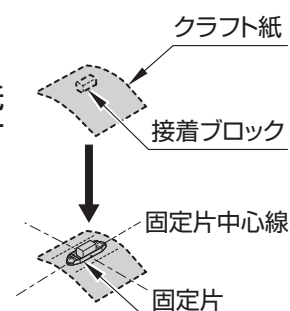
2 便器の排水穴を持つ

結露防止カバーは取り外さない



2 大便器の固定

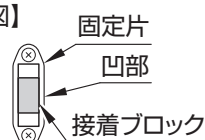
1 接着ブロックをクラフト紙に包んだ状態のまま固定片の凹部のピンに差し込み、指で軽く押す



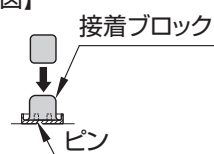
【接着ブロックについて】

- ・施工直後のやり直しの際は、接着ブロックの形を下図のように整えてください。
- ・接着ブロックの方向性は特にありません。
- ・気温が下がると接着ブロックが固くなることがあります。その場合は、接着ブロックをあたたためて柔らかくしてからご使用ください。

【上面図】

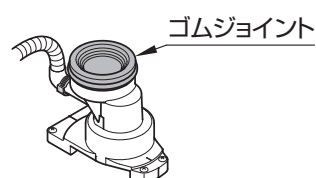


【側面図】



参照 接着ブロック同梱の注意書

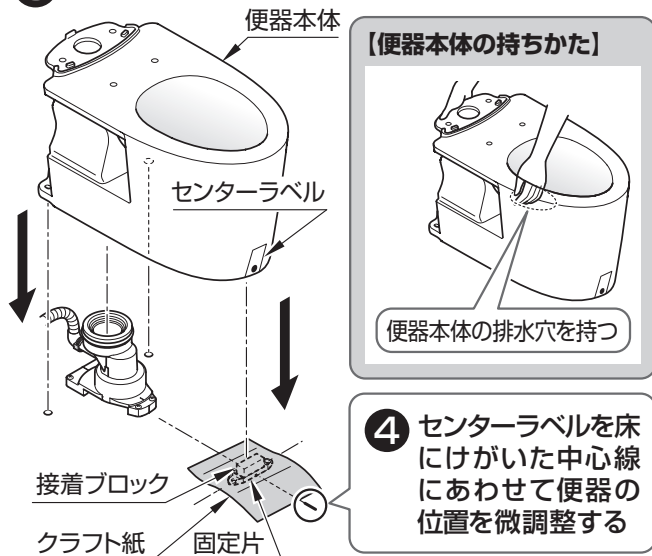
2 接続部周辺の汚れを除去する



【便器本体背面図】

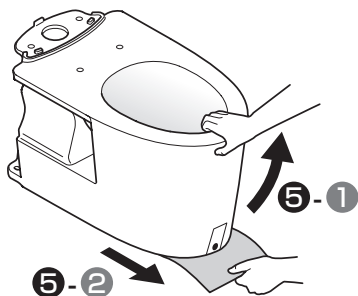


③ 便器排水口を排水ソケットに差し込む

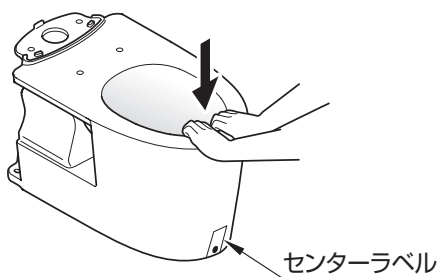


④ センターラベルを床にけがいた中心線にあわせて便器の位置を微調整する

⑤ 便器先端を少し持ち上げ、固定片の上のクラフト紙を引き抜く



⑥ 接着ブロックがつぶれ、便器本体が床につくまでしっかりと押さえ、センターラベルをはがす

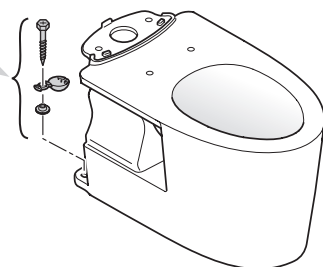


⑦ 木ねじ(後固定用) 4.8×63(2本)

最後の増し締めは、手締めにより行い便器を割らないこと

化粧キャップ(後固定用)
ワッシャー(後固定用)

向きに注意

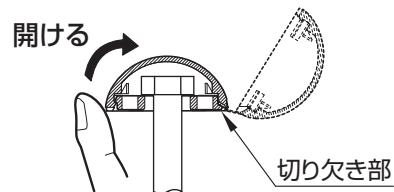


3 化粧キャップ付きねじの固定方法

取り付けかた

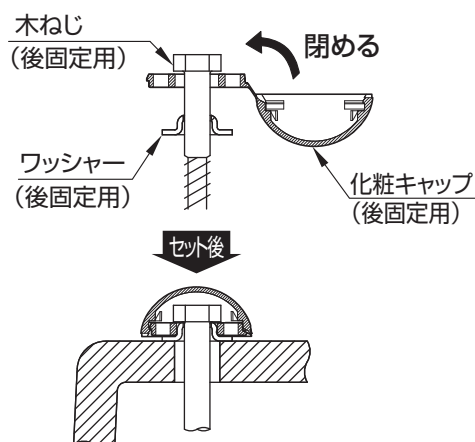
① 化粧キャップを開ける

木ねじを手で持ち、切り欠き部をよけて化粧キャップの下部を矢印の方向に指で押し上げる。



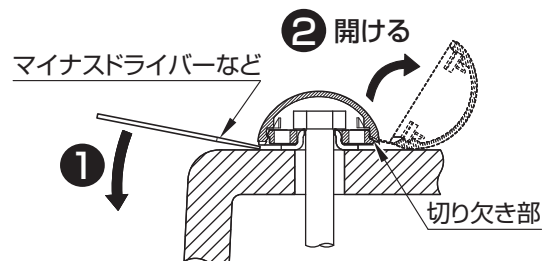
② 木ねじを取り付け、化粧キャップを閉める

木ねじを取付後、化粧キャップを矢印の方向に曲げて、「パチッ」と音がするまで押し込む。



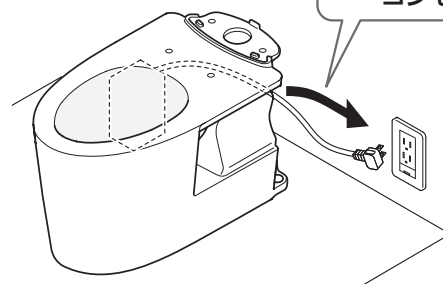
取り外しかた

化粧キャップの切り欠き部をよけて下部に差し込み、矢印の方向に押さえて開く。



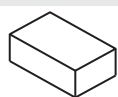
ヒーター付便器

③ 電源コード取り回し コンセント側へ



7. コアキャビネット

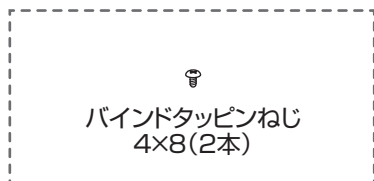
使用部材



詰め合わせ箱

付属材セット (キャビネット)

付属材セット



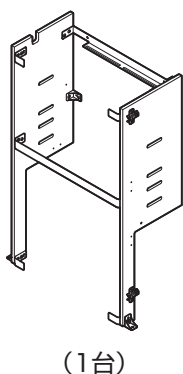
ねじセット(キャビネット用)



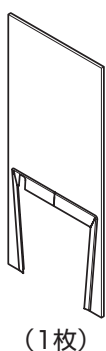
コアキャビネット

コアキャビネット

コアキャビネット組品



前板組品

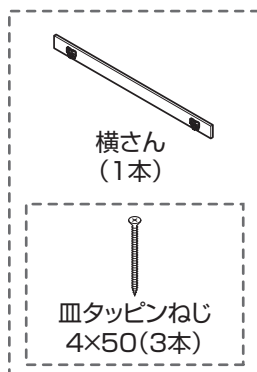


※図はまるごと収納タイプの場合

天板セット

【まるごと収納タイプ】
【スリム収納タイプ】

取付材セット(横さん)



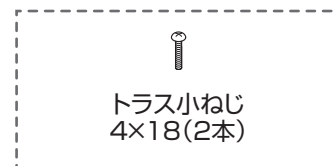
※図はまるごと収納タイプの場合



その他包装

エンドパネル

ねじセット



側板組品(手洗器設置側)



※図はまるごと収納タイプの場合

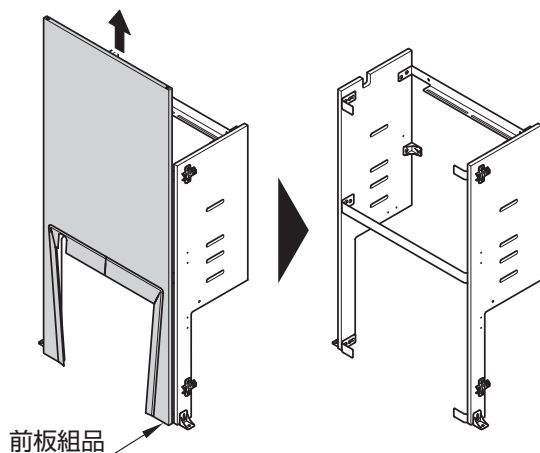
側板組品(手洗器と反対側)



※図はまるごと収納タイプの場合

1 前板組品の取り外し

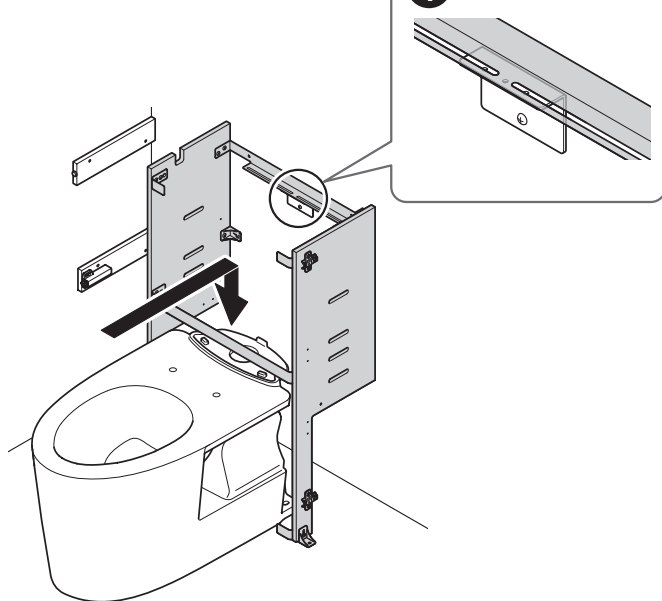
① 前板組品をコアキャビネット組品から取り外す



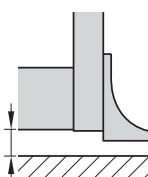
2 コアキャビネット組品の取り付け

※タイプにより、コアキャビネット組品の形状が異なります。

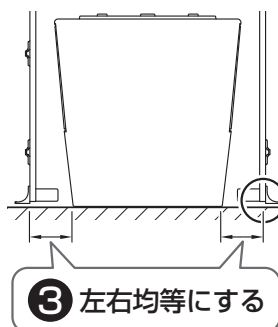
① 載せる



② すき間があることを確認する



③ 左右均等にする



⑤ バインドタッピンねじ
4×8(2本)

④ 水平確認



⑥ けがき → 下穴※

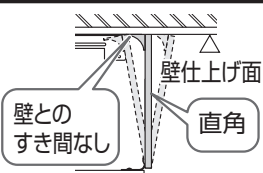


※【壁裏補強なしの場合】
下穴 → ボードアンカー



⑦ トラストタッピンねじ
4×40(4本)

ねじ固定時に側板が
曲がらないようにすること



⑧ ゆるめる

⑩ 固定する

⑨ 床に
当てる



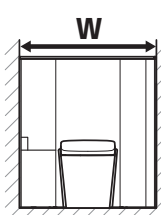
⑪ けがき → 下穴



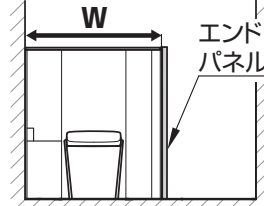
⑫ トラストタッピンねじ
4×40(左右各1本)

3 横さんのカット

① 測定



【エンドパネルありの場合】



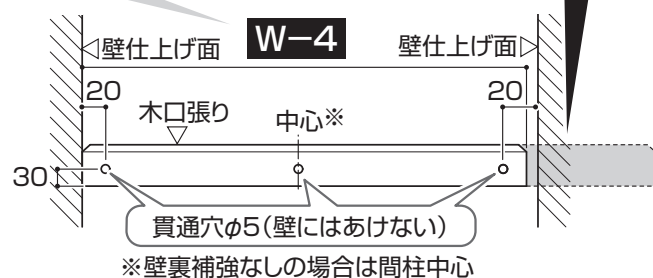
② 測定



③ けがき → 右側
カット

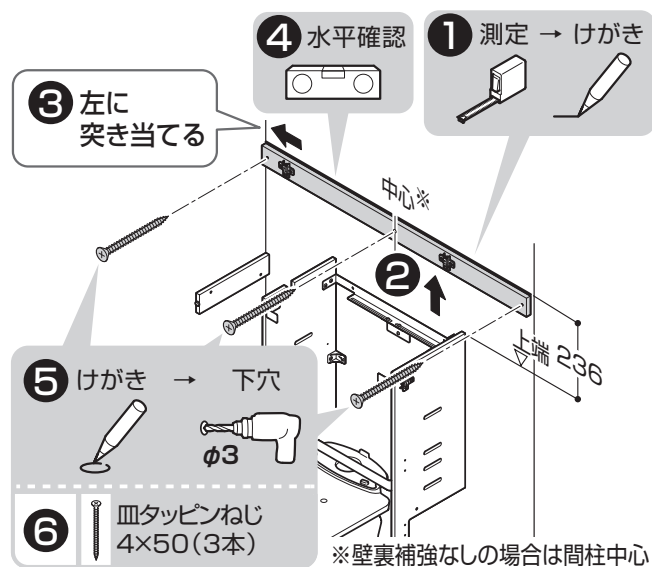


チッピングに注意すること

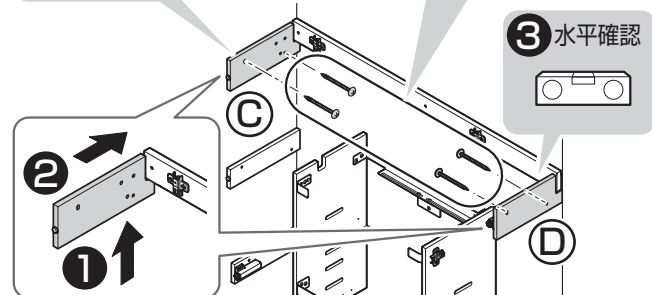
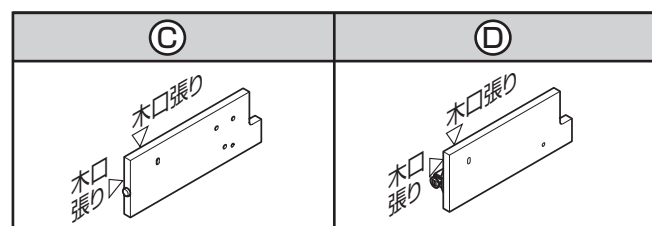


まると収納タイプ

4 横さんの取り付け



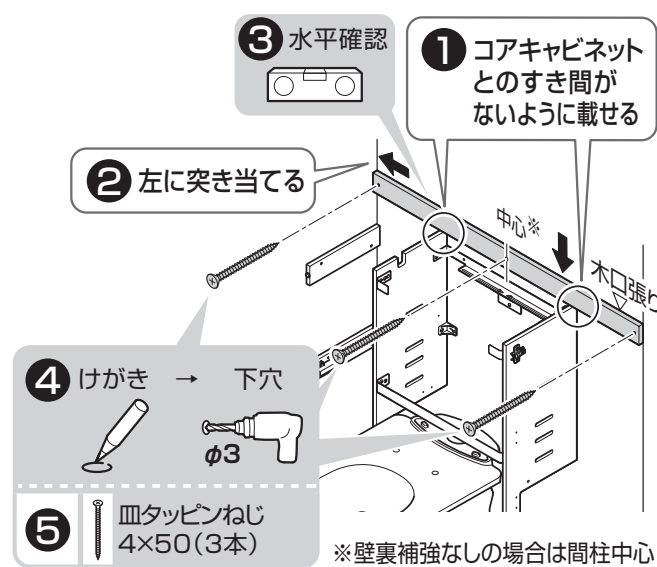
5 側板組品の取り付け



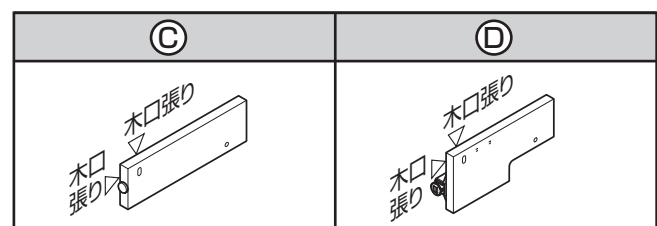
P.48 8. セットタンクへ

スリム収納タイプ

4 横さんの取り付け



5 側板組品の取り付け



8. セットタンク

使用部材

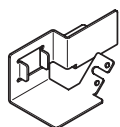


詰め合わせ箱

付属材セット (キャビネット)

取付材セット

※図はスリム収納タイプの場合



取付材
(洗浄レバー)
(1個)



トラス
タッピンねじ
5×14(2本)

付属材セット



洗浄レバー
(1個)

ホースクランプセット※水抜方式の場合



ホースクランプ
(1個)

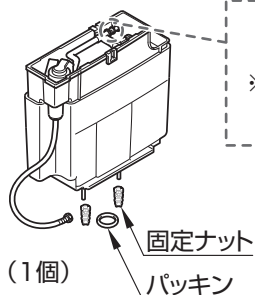


トラス タッピンねじ
4×40(1本)

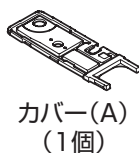


コアキャビネット

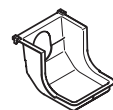
セットタンク



ピン(1個)
※ピンはジョイント端
に付いています。



カバー(A)
(1個)

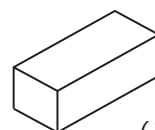


カバー(B)
(1個)



その他包装

便器洗浄ユニット



(1箱)

1

セットタンクの取り付け

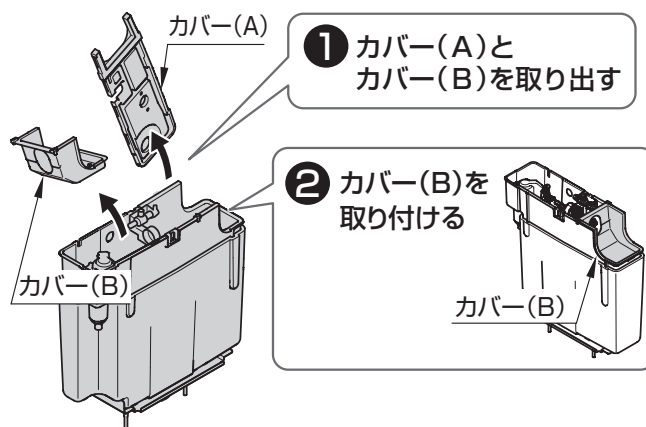
⚠ 注意



必ず守る

カバー(B)がしっかり閉まっていることを確認する

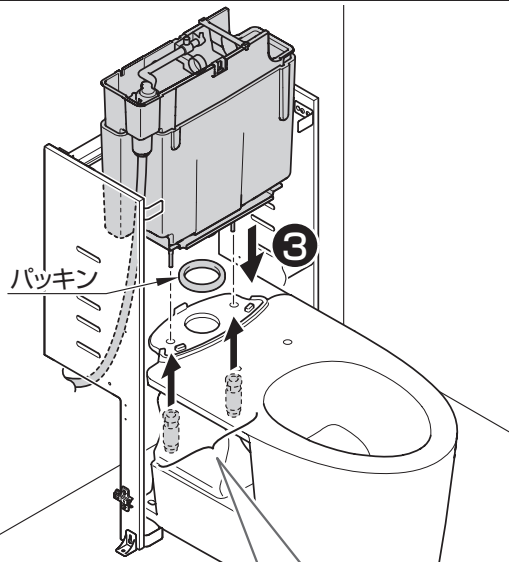
カバー(B)が閉まっていないと、セットタンク内の水が跳ねて家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



⚠ 注意



セットタンクにパッキンがセットされていることを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



⚠ 注意

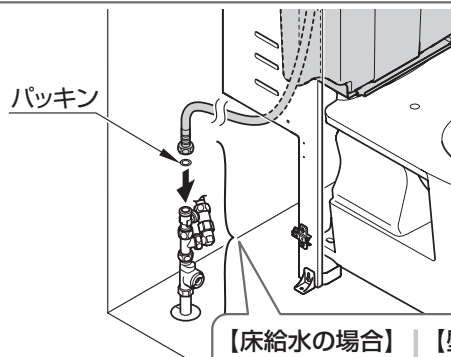


左右の固定ナットを確実に締める
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

固定ナットを締め付けるときは必ず手で行う
工具を使用すると破損するおそれがあります。



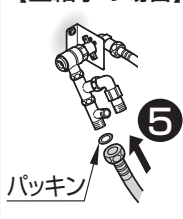
④ 手締めでかたく締め付ける
破損防止



【床給水の場合】



【壁給水の場合】



水抜方式 の場合は右図参照

水抜方式

止水栓が左側にある場合

⑤-②

ホースがたるまないように固定する

トラスタッピンねじ 4×40(1本)

逆勾配防止

ホースクランプ

パッキン

⑤-①

260以上

420以下

後壁

便器中心

止水栓が右側にある場合

⑤-③

ホースがたるまないように固定する

トラスタッピンねじ 4×40(1本)

逆勾配防止

ホースクランプ

210

別売品

延長用ホース
給水アダプター

⑤-②

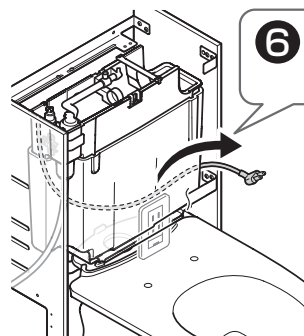
⑤-①

305

便器中心

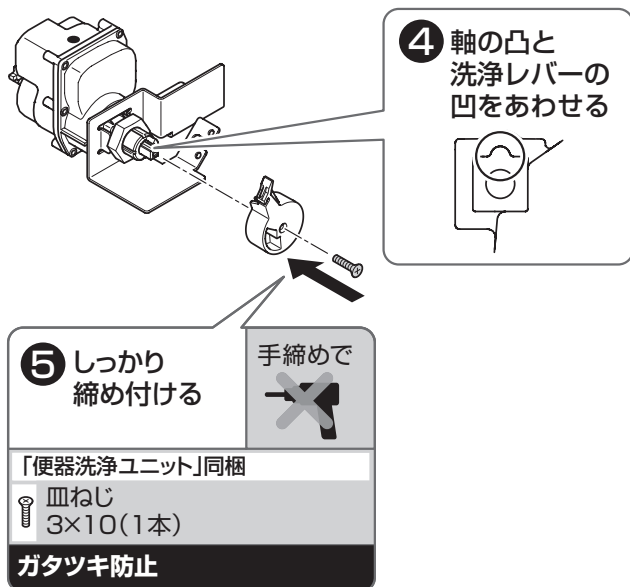
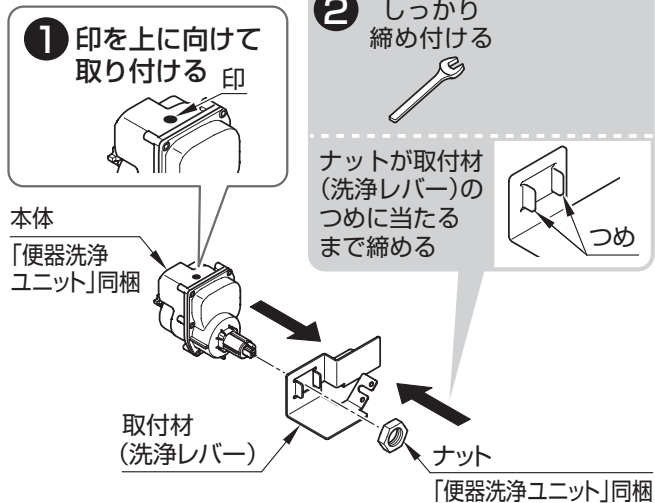
パッキン

⑥ コンセント側へ
取り回す

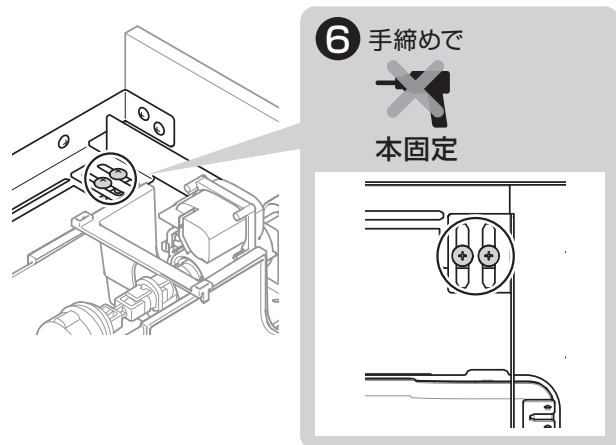
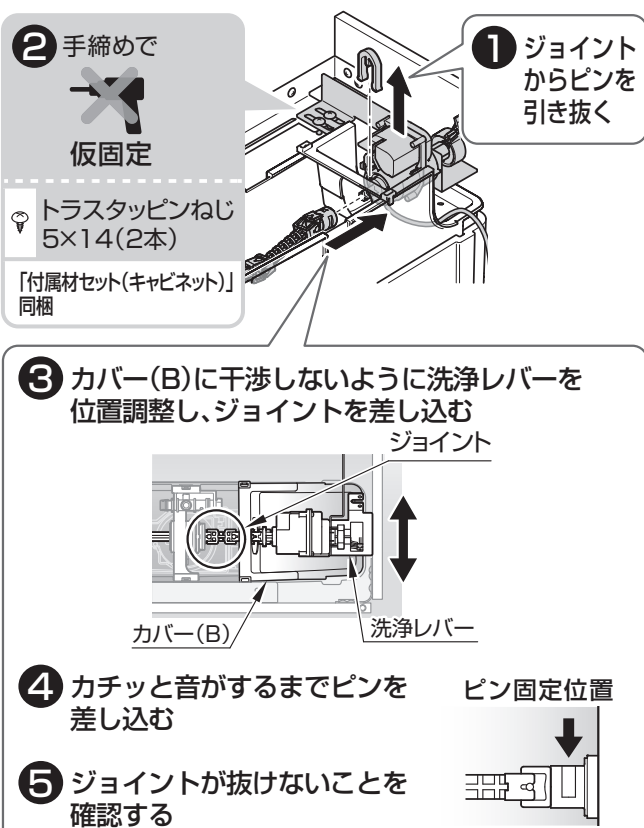


2 洗浄レバーの組み立て

※便器洗浄ユニットに同梱の説明書とは、取付向きが異なります。



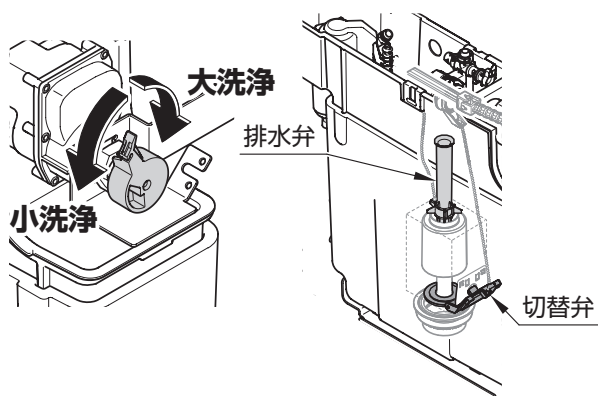
3 洗浄レバーの取り付け



4 洗浄レバーの作動確認

① 作動確認

- ☐ 洗浄レバーが「大」側、「小」側へ正常に作動すること
- ☐ 「大」側に回し、排水弁のみが引き上がること
- ☐ 「小」側に回し、排水弁・切替弁が引き上がること
- ☐ 洗浄後、洗浄レバーが正規の位置に戻ることを確認すること



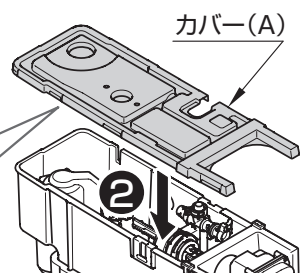
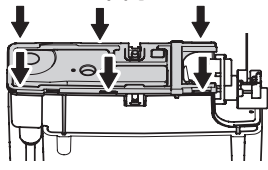
⚠ 注意



必ず守る

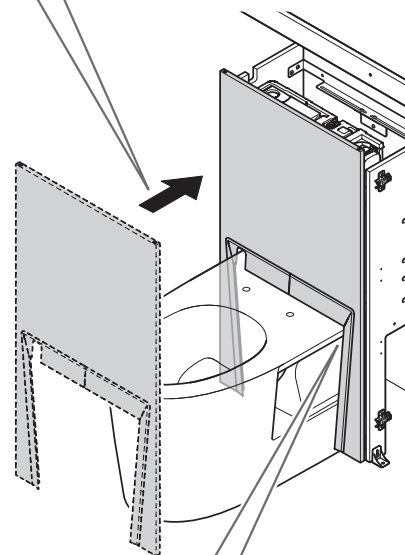
カバー(A)がしっかり閉まっていることを確認する
カバー(A)が閉まっていないと、セットタンク内の水が跳ねて家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

③ 浮き上がっていないことを確認する

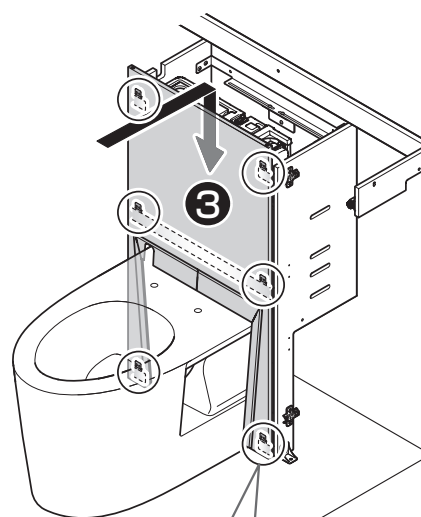
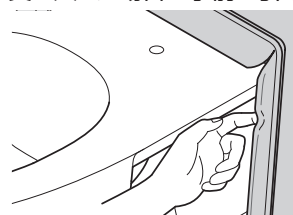


5 前板組品の取り付け

① 前板組品を正面から挿入



② はかま目地材を便器に添わせる ※奥に入った場合は手前に引き出すこと



④ 6カ所引っ掛ける

